

16ミリフィルム

国 語

| 番号 | 題 名 | 時間(分) | 対象 | 内 容 |
|-----|-------------------|-------|------|--|
| 学14 | 筆づかいの基本 | 20 | 小(中) | 毛筆書写の色々な心得や、縦書き・横書き・はらい・はねなど、筆づかいを中心に基本的な書法を解説する。 |
| 学21 | 敬語 相手をおもいやることばづかい | 20 | 小(高) | 日常生活の中で、敬語がどのように使われているか、どんな種類があるかを解説し、敬語は着飾った言葉ではなく、相手の立場に立って、相手を思いやる心にあることを教える。 |

算 数

| | | | | |
|-----|----------|----|------|---|
| 学67 | かたちのたんけん | 20 | 小(低) | 「まる」「さんかく」「しかく」といった算数で扱う図形を、自然の中からアニメーションでその属性を抽出し、簡単なストーリーをもとに、取り出された形を様々な組み合わせたり分解したりしながら、図形と一緒に遊び、図形の概念を理解させる。 |
|-----|----------|----|------|---|

理 科

| | | | | |
|-----|------------------------|----|--------|--|
| 12 | アフリカの自然動物園 | 22 | 小～一般 | アフリカ大陸のキリマンジャロの麓に生存する動物たちが、このサクのない動物園の中でどのように生活しているのかが、見事に描かれている。 |
| 39 | まつげ虫の一生 | 30 | 中～一般 | まつの大敵まつげ虫の生態を描いたもの。 |
| 59 | ようとじんぞう | 15 | 小5 | 腎臓のしくみや、腎臓と尿のかかわりを、人工腎臓を調べることによって分かりやすく解説する。 |
| 117 | 南極観測十年の歩み | 45 | 中～一般 | 南極観測隊の歴代の隊員が「昭和基地」を中心にどのような生活をし、研究活動をしてきたか、記録フィルムをふんだんに利用して、簡潔にとりまとめた貴重な記録。 |
| 153 | 渡り鳥・渡らない鳥 | 26 | 小・中高 | 夏鳥・陸の冬鳥・水の冬鳥・陸の留鳥・水辺の留鳥・旅鳥に分けて説明し、標識調査によって、渡りのルート等の研究も行われていることを紹介する。またタンチョウ、ナベヅルなど渡り鳥についても考える。 |
| 185 | 翔べオオムラサキ | 49 | 小・中一般 | 怪我をしたオオムラサキを助けた親子が、産み落とした卵を大切に保護し、保護会の人の手によって誕生するまでの様子を描き、静岡県の子供たちにより大切に育てられる様子を感動的に描く。 |
| 239 | 男女のからだ | 9 | 小・中 | 人は男女によって体に違いがある。それは子どもを生み、育て、生命を連続させていくために必要なものであることを理解させ、生命を大切にすることを養う。 |
| 学1 | 星の観察 | 20 | 小5 | 冬の星座の実写を交えながら、星の動きの規則性を捉え、星の観察の仕方や記録の取り方などを解説する。 |
| 学9 | 地層を調べる | 18 | 小6 | 縞模様をはっきり分かる、いくつかの露頭を観察しながら、地層の見方、長い時間と広い空間にわたってできる大地というものの見方・考え方の基礎を養う。 |
| 学23 | おもりでうごくおもちゃ | 16 | 小(低) | 厚紙を主な素材として、児童が次々に、色々なおもりで動くおもちゃを工夫して作っていきながら、発想を広げていく様子を描写した。 |
| 学24 | 太陽と月を観察する | 17 | 小(中) | 太陽や月の1日の動きが似ていることを、24時間の連続撮影で見せ、月は、1ヶ月間の継続観察により、見え方や動き方が規則的・周期的に変化することを解説する。 |
| 学30 | 冬をこすいきもの | 19 | 小(中) | 冬を越す様々な生き物の姿をとらえ、自然に対応する生物のたくみな営みを描き、季節と生物の関わり合いを解説する。 |
| 学42 | 川原のようすと水の流れ | 15 | 小4 | 源流から河口に至るまでの川の様相や土地の変化を空撮によって捉え、更に川底の石や砂の動き、洪水時と平常時の流れの比較などを示し、流速・流量と運ばれる物の関係を考え、実験で確かめていく。 |
| 学44 | 南の星と北の星の動き方 | 5 | 小5 | 南の空のオリオン座、北の空のカシオペア座の動きを特殊撮影で捉え、星は同じ方向に動き1日経つと元の位置に見えること解説する。 |
| 学46 | いけやおがわのいきもの | 14 | 小2 | 水辺に生息する貴重な生物の興味深い生態を記録し、保存すると共に、水の中で生活する生き物の食べ物、活動の様子、体のつくりや変態などを克明に追い、自然観察の目を養うと共に、生命への慈しみを呼びかける。 |
| 学50 | コンチュウのかんざつからだのつくりとはたらき | 19 | 小(中・高) | 特撮を交えて描いた野外でのコンチュウの美しい生態と体の様子。その観察結果を元に製作した巨大なモデルと実物を見比べていた子供自身から生まれた様々な疑問から、更に理解を進化させていく。 |
| 学56 | 食べ物の旅 消化器のしくみとはたらき | 18 | 小6 | 食べた物が各消化器をどのように通り、養分として吸収されていくか、分かりやすい実験と軟X線・内視鏡などの特殊撮影やアニメーション画像を用いて描いた。だ液の働き、胃液の働き、十二指腸・小腸の働き、大腸・肛門の働き。 |
| 学57 | 火山災害を知る | 25 | 小～一般 | 火山活動による災害には、様々な種類がある。その中でもとりわけ大きな被害をもたらす火山灰、火砕流、泥流、火山性岩なだれ、火山性津波、溶岩流、火山ガスについて、世界各地の貴重な火山噴火の記録を紹介しながら説明する。 |
| 学60 | 小川でみつけたメダカやゲンゴロウたち | 21 | 小(低) | 小川に住む生物の体と活動、食べ物や住みかなど、水中の生き物の生態を解説する。 |
| 学63 | メダカのたまごの育ちかた | 18 | 小5 | メダカの卵を発見し、観察を続け、得られた記録から、卵の変化には規則性のあることを見出す小学生達の姿を通して、科学的な物の見方・考え方を描く。また微速度撮影で観察した卵の内部の変化や、生まれた子メダカの生活を紹介する。 |
| 学74 | 地層のでき方と水の働き | | 小 | 地層は、水流の働きによってできていくことを実験しながら解説する。 |

16ミリフィルム

社 会

| | | | | |
|-----|--------------------------|----|--------|--|
| 11 | 自然や文化財の保護 | 21 | 小・中 | 産業の発達、地域開発が進む中で美しい自然や文化財が傷つけられ、破壊されている。その実情や問題点を挙げ、自然や文化財の持つ意味、重要性を示し、それらを守ろうとする意欲や態度を育成する。 |
| 26 | 京都の歴史と文化 | 28 | 中～一般 | 古い文化財を多く持つ日本の古都、京都。その文化財・建築・彫刻・庭園など我々が容易に接することのできないようなものを取り上げている。平安遷都から明治までの歴史の中に位置づけながら紹介する。 |
| 109 | 信州の自然 | 28 | 中～一般 | 美しい信濃の高山、渓谷の自然、生物の様子、自然にいでむ登山者や高地の農耕にいそむ農民の姿、広々とした牧場に草を食む家畜の群れなどを描写した。 |
| 137 | 製鉄 | 40 | 中～一般 | 世界の先端をゆく日本の製鉄所で、鉄鉱石が精度の高い鉄鋼製品になる過程を紹介する。日本の産業経済の現状を考える際一般的理解を得る上に大きな手がかりとなる。 |
| 162 | 弥生人の世界 | 20 | 中～一般 | 日本の農業の基礎となった稲作を通して、弥生時代の生活や、その変化を探り、山口県の各遺跡から出土した考古学的資料と、発掘作業の様子を交えて、文化遺産愛護の態度を育む。 |
| 187 | 雄藩への道 | 20 | 中～一般 | 関ヶ原の敗戦で、防長2カ国に削封され、長州藩として再出発した毛利氏が、防長四国を中心とした産業の振興によりやがて西国の雄藩として大きな力を持つようになった過程を描く。 |
| 223 | 昭和天皇の時代 | 40 | 小～一般 | 激動の昭和時代を昭和天皇の足跡を中心にたどりながら、変化に富んだ60年を越える歴史の流れを豊富な映像資料により、生き生きと浮かび合わせた。 |
| 学10 | 歴史を調べる | 19 | 小6 | 身近な地域の歴史的遺跡や、日常生活の中に残る食品—梅干やそれぞれの土地の特産物などを通して歴史の調べ方を学ぶ。 |
| 学22 | ゆうびんのしくみとはたらく人たち ゆうびんの工場 | 12 | 小(低) | 休みなく働いている郵便局の、24時間の仕事の内容を紹介し、ハガキや手紙がポストに入ってから、どのようにして遠くまで配達されているかを説明する。 |
| 学31 | 地図の見方・使い方 | 20 | 小(中・高) | 低地や台地・高地などの学習に密着した具体例を通して色々な地図の活用法を描き、地図や地図帳の基礎的な読み方や、目的に応じて地図を効果的に活用する能力を身につけさせる。 |
| 学34 | 日本の地形と自然のようす | 21 | 小5 | 日本の国土は山地が多く、複雑で変化に富んだ地形を形成している。その様子を海岸線、山地、川、平野という四つのポイントを中心に空撮を交えて描き、日本の地形の特色を明らかにする。 |
| 学36 | 海ではたらく人たち | 21 | 小2 | 激しい労働が続くマグロ漁。その迫力ある画面から海で働く人達の労苦を見せる。そして海の仕事は天候などの自然条件に関係が深い事、そこで互いに協力し合ったり、工夫したりしながら災害を防ぐ努力をし、とるだけでなく魚を育てる仕事にも力を入れていることを解説する。 |
| 学40 | 憲法とわたしたちの生活 | 20 | 小6 | 日本国憲法の基本的な考え方を子供の目を通して具体的に探り、民主政治の在り方に目を開かせる。 |
| 学41 | ごみのゆくえ せいそう工場 | 20 | 小4 | 家庭から出される様々なごみが、どのように集められ処理されるか、主として清掃工場の仕組みを中心に児童の見学の様子を通してまとめた。ごみの行方を興味深く、分かりやすく内容のポイントを絞って解説する。 |
| 学49 | 地域によってちがう気候 | 20 | 小5 | 南北に長く伸びる日本は、地域によって気候に大きな違いがある。各地域の気候の違いと、気候に合わせた色々な暮らしの工夫について描く。 |
| 学53 | あたたかい土地の人々の暮らし—沖縄島— | 20 | 小(中) | 気候の温暖な地域の人々は、暮らしのうえでどのような工夫をこらしているか、また、その気候条件を農業などの生産活動の面でどのように活かしているかを、沖縄県を例に描いた。 |
| 学65 | 森林と私たち | 20 | 小5 | 緑は私たちのかけがえのない宝物。森を守る人の努力、森林の多様な働きを訴える。 |

家 庭

| | | | | |
|-----|---------------|----|------|--|
| 学8 | 着る 気温や季節に合わせて | 20 | 小(高) | 季節や気温の変化に応じた暖かい着方、涼しい着方について、科学的な実験を中心にした手法で、「着る」ということについての基本的な学習をする。 |
| 学52 | 快適な住まい方 | 21 | 小(高) | 家族が快適に暮らすためには、整頓と清掃や安全性の留意が大切であること、実験を交えながら、周囲への配慮の大切さを教える。 |

図画工作・美術

| | | | | |
|-----|-------------|----|--------|--|
| 108 | 狩野芳崖 | 21 | 中～一般 | 幕末から明治中期にかけて活躍した狩野芳崖の一生を時代背景やエピソードなどを織り交ぜながら、その足跡を記録し、社会・美術の教材とし、併せて郷土への愛着と関心を高めさせる。 |
| 184 | 横山大観 | 30 | 一般 | 昭和32年に90歳で生涯を終えた大観・横山秀麿は、近代日本が生んだ一代人物であるといわれる。作品年譜に従って、その代表作品を紹介すると共に、大観の人生観、芸術観について触れる。 |
| 学7 | 版画をつくらう | 21 | 小(高) | 木版画の構想・下絵の書き方・彫り・刷りなどの技法と創作意欲とをまとめた。 |
| 学13 | 絵の楽しい見方とかき方 | 20 | 小(高) 中 | 絵を描く見方と、絵にする表し方を学び、形のとり方、明暗、構図、色彩などの効果的な構成ができるようにする。 |

16ミリフィルム

| | | | | |
|-----|--------------|----|--------|---|
| 学17 | かみはんが | 20 | 小(低) | 子供が喜んで版画づくりをする授業を描きながら、基礎的な技法を理解させ、紙版画の特徴に気づき、それを活かして心情を豊かに表現できるようにした。 |
| 学18 | ポスター 伝えるデザイン | 20 | 小(高) | ポスターの表わし方の工夫や、色、形、材料の使い方などを解説する。 |
| 学33 | 楽しい工作 木でつくる | 20 | 小(高) | 木工作を通して、工具や材料の特徴や使い方、初歩的な技法を分かりやすく教える。 |
| 学51 | 見つけた材料でつくる | 20 | 小(中・高) | 身近な材料の形や材質から作るものの形体を発想し、材料との触れ合いの中で構想が定着していくプロセスを追い、ものを作る楽しさや使う喜びをうたった。不用になったものが、子供達の新鮮なアイデアによって美しく生まれ変わる様子を描く。 |
| 学55 | そうぞうしてかく | 20 | 小(中) | ものの見方や感じ方などにポイントを置いて、想像力豊かに作品を仕上げていく方法を説明する。 |

音 楽

| | | | | |
|-----|----------|----|--------|--|
| 学2 | 森のアンサンブル | 22 | 小(中・高) | 子供達の自由な発想で、曲を選び、楽器を決め、パート符を作り、練習を重ねて、アンサンブルを作り上げる過程で、一人一人が演奏に責任を持ち、協力して美しい楽曲を創り上げる様子を描く。 |
| 学35 | たのしいおんぷ | 19 | 小(低・中) | この映画は、漫画的なおもしろさの中で、音符に親しみを覚えさせ、その音符を駆使して誰にでもできるような表現活動に導く。 |
| 学69 | たてぶえ | 20 | 小(中・高) | たて笛の基礎的な技術を楽しく理解させ、たて笛の魅力、優れた芸術性を模範演奏によって紹介する。 |

保健体育(保健・性教育)

| | | | | |
|-----|--------------------------|----|--------|---|
| 122 | 子供は風の子太陽の子 | 27 | 小～一般 | 子供達の運動能力を中心とした基礎体力の向上と地域スポーツの普及振興を図るため、身近な体育・スポーツ施設を効果的に活用し、大自然の中で新鮮な空気と太陽のもとで楽しく体力作りを行う。 |
| 246 | エイズ(その正体と予防) | 22 | 中～一般 | 日本で死亡した患者を例に、エイズの実態を検証。エイズの怖さ、正体、メカニズム、防ぎ方について説明する。基本的な知識を身につけることがエイズから自分自身や家族を守る最良の方法であることを訴える。 |
| 学15 | 目をたいせつに | 19 | 小(中・高) | 「目」の健康を守るためには、どのような心構えや生活習慣を身につけたら良いか。「目」の正しい使い方、正しい知識、病気の予防などについて解説する。 |
| 学37 | むし歯の予防 | 21 | 小(低・中) | なぜ虫歯ができるのか、おやつのとおり方、歯の正しい磨き方などを盛り込み、自分の力で健康的な歯づくりをするための心得を、分かりやすく解説する。 |
| 学58 | 正しい歯のみがき方 むし歯にならないために | 15 | 小(中・高) | 歯の汚れとは何か、正しい歯の磨き方を解説する。 |
| 5 | 十代の性と愛 | 32 | 小・中一般 | 家庭での「性に関する対話」がどうあるべきか示唆し、性は本来人間の尊厳につながる美しいものであることを明らかにしようとしたもの。 |
| 9 | 子どもの性の悩みと 親の態度 | 30 | 一般 | 心身の変化が激しい思春期の子どもの性の悩みの実態と、それを受け止める親の態度や留意すべき点を示し、親に性教育の意味と性教育における家庭と学校の役割と分担、協力について考えさせる。 |
| 27 | 思春期の 男女交際のために | 21 | 中～一般 | 異性への関心が高まる思春期男女の交際を描き、男女交際の意義や交際の基本的態度、心構えなどを考えさせ、異性に対する敬愛の精神や健全な異性観、マナーを考える。 |
| 57 | 小学生と性 子と親の相談室 | 28 | 小・中一般 | 男の子には女の子の生理を、女の子には男の子の性を教え、お互いに理解し、いたわりあう男女関係を育てる。性教育における学校と家庭の限界を知る。 |
| 89 | 未成年の性 親こそ最良の教師 | 33 | 中～一般 | 青少年の性に関する問題事例を挙げ、何が彼らをそうさせたのか、こうした問題は、親と子の信頼こそ大切で、その信頼感は親が語りかけ、親と子が心から話し合うことから生まれることを示唆する。 |
| 97 | 初潮にそなえて | 15 | 小(高) | 初潮平均年齢の若年化に伴い、その準備教育が重要視されている。そこで初潮のもつ意味や心構え、正しい手当てなどを分かりやすく描き、同時に望ましい人間形成に役立てようとするもの。 |
| 127 | 思春期における男子の生理 | 20 | 小(高) | 思春期男子の心身発達の特徴を基底に、性の意義や役割を正しく理解させ、人間形成の重要な一環としての思春期にふさわしい健全な生活態度を養わせる。 |
| 128 | 生理時の手当てと 女の子の生活 | 15 | 小(中・高) | 月経の仕組みや月経時の適切な手当てと心得等を具体的に描き、初潮期を迎える児童が月経時に戸惑わないよう心の準備をさせる意図で制作。 |
| 149 | 梅毒 | 20 | 一般 | 梅毒は治療を怠れば、本人はもちろん、子孫や他人を不幸のどん底に陥れてしまう。その恐ろしさを追求しながら、早期発見・早期治療の重要性を示し、性病の正しい認識と、一人一人の自覚が大切であることを訴える。 |
| 156 | 親から子への性教育 | 30 | 一般 | 幼児から中学生までの親と子の性問答を中心に、家庭における性教育の重要性を示し、親のとるべき態度や考え方を具体的に描く。 |
| 158 | 青年の愛と性 | 30 | 高一般 | 愛と性について考えを異にして交際している青年男女に、愛とは何か、性とは何かを考えさせ、自らの価値観と責任において、行動していくことの大切さを訴える。 |
| 182 | 見つめていますかからだ | 30 | 中・高 | 女子中・高校生を対象に、「性器の構造とその働き」「受精・妊娠のしくみ」など女性のからだと性に関する事柄を科学的事実をもとに描き、女性の体の素晴らしさ、自分の体をコントロールすることの大切さなどを訴える。 |

16ミリフィルム

| | | | | |
|-----|------------------------|----|--------|--|
| 201 | 中学生 その性と愛 | 32 | 中一般 | 中学生が自我や性に目覚め始める頃の考え方、行動の一端をドラマで描き、安易に危険な行動に走りがちな子供達を自制させるには、親、特に父親の態度が大きく影響するという事を示唆する。 |
| 202 | 生命創造 | 18 | 小～一般 | 人類史上はじめて胎児の成長過程を克明に記録した記録映画で、自然のいとなみ、生命の誕生の厳粛さ、そして性の知識を明るく正しく得ることができる。 |
| 218 | どうして生まれるの？ かわいい赤ちゃん | 23 | 小 | 植物のおしべとめしべの役割や、人間の男、女の体の構造の違い、受精のしくみ、受精卵成長、そして生命の誕生は「性」がいかに大切かを描く。 |
| 学20 | おとなヘダッシュ | 19 | 小(中・高) | 第2次性徴の発現期を迎える男女児童に、自分達の心身に起こりつつある変化を認識させ、その意味についても考えさせる。男女の相互理解、生命の尊さについても理解を深める。 |
| 学38 | からだの発育 男の子の生理 | 14 | 小(高) | 第2次性徴について分かりやすく解説しながら、大人への第一歩を踏み出した証しなのだという事を、科学的・情緒的に理解させる。 |
| 学59 | 赤ちゃん誕生 | 20 | 小(中・高) | 人間はどのようにして生まれるのかを分かりやすく示す。赤ちゃんの生命と精子・卵子、受精の仕組み、男女の性はどのように決まるのか、母体の中で成長する胎児、赤ちゃんを産むための準備、赤ちゃんの誕生、生命の尊さについて解説する。 |
| 学71 | からだの発育 女の子の生理 | 14 | 小・中 | 女の子は男の子より早い時期に体の成長の変化が大きくなる。第2次性徴、体の発育に伴う女の子の生理を解説する。 |

体 育

| | | | | |
|-----|--------------------------|----|--------|---|
| 学3 | 小学生のバスケットボール | 15 | 小(高) | 小学生のバスケットボールのゲーム場面を中心に取り上げ、パス・ドリブル・シュートなどの基本的な技術をスローモーションやストップモーションを多用して、その要点を分かりやすく解説する。 |
| 学6 | 安全な水泳のために | 30 | 小 | 入水までの準備、入水の手順や方法、海や川などでの水泳事故防止、人工呼吸を解説する。 |
| 学11 | 小学生のサッカー | 20 | 小(高) | サッカーの基本的な技能やその段階的な練習法、ルールなどについて解説する。 |
| 学12 | 楽しい水泳教室 クロール篇 | 14 | 小～一般 | クロールの正しい泳ぎ方と効果的な指導法を描いた。初心者には基本動作を、泳げる人には基本の復習と悪癖の是正をさせる。 |
| 学16 | 楽しい水泳教室 平泳ぎ篇 | 14 | 小(中・高) | 平泳ぎの正しい泳ぎ方と効果的な指導法を描いた。初心者には基本動作を、泳げる人には基本の復習と悪癖の是正をさせる。 |
| 学25 | 小学生の陸上運動 短距離走と持久走 | 20 | 小(高) | 短距離走と持久走の基礎技能の要領と留意点などを、特殊撮影や様々な事例を交えて描き、技能の習得、筋力、調整力、持久力を培うポイントを教える。 |
| 学27 | どうぶつごっこ かるいうごき・おもいうごき | 15 | 小(低) | 「動物ごっこ」の題材で、色々な動物の模倣に興味を持たせると共に、特に軽い感じから兎と小鳥、重くゆっくりとした感じから象を取り上げ、1～2人でよい動きができるようにした。 |
| 学32 | 小学校の器械運動 《鉄棒運動編》 | 19 | 小(中・高) | 逆上がり一腕立て後転・前回りおり、腕立て後転(連続)・前回りおり、腕立て前転・前回りおり 足かけ上がり一足かけ後転・踏み越しおり、足かけ後転(連続)・踏み越しおり、足かけ前転・転向前おり |
| 学48 | 小学校の器械運動 《跳び箱運動編》 | 18 | 小(中・高) | 腕立て開脚跳び、腕立て閉脚跳び、台上前転の模範演技を見せ、跳び箱運動の内容と技能のポイントを教える。 |
| 学54 | たのしい表現運動 あれくるう海 | 15 | 小(高) | 荒波の波の動きと舟や岩などとの力の対立を表現する。 |

生 活 科

| | | | | |
|-----|--------------|----|------|--|
| 学68 | のりものにのろう | 15 | 小(低) | 児童がバスや電車などの乗り物や駅などを利用する機会が増え、またバスや電車などの交通機関に特別な興味や関心を示す。公共物の働きが分かると共に、安全に気をつけて正しく利用する態度を身につけることができる。 |
| 学72 | やさしいどうぶつのおやこ | 21 | 小 | 動物の親子の心温まる触れ合いの様子を描いた。児童に豊かな心をはぐくむことを意図した。 |

特 別 活 動

| | | | | |
|-----|------------|----|--------|---|
| 学26 | たのしいきゅうしょく | 18 | 小(低) | 入学当初の1年生の多くは、給食活動に対して不安を抱いている。給食当番についてや、上手な食べ方、後片付け、給食を楽しむためにはどうすれば良いか、などを解説する。 |
| 学39 | 学級会を明るく | 21 | 小(中・高) | 学級会活動では、学級の諸問題をクラス全員で話し合う活動や係りの活動、学級集会などの活動を行う。様々な壁にぶつかりながら、楽しい学級会を築いていく様子をドラマチックに描き、望ましい学級会の在り方を考えさせる。 |

道 徳

| | | | | |
|----|-------------|----|--------|---|
| 70 | 竹とんぼの空 ともだち | 25 | 中～一般 | 相手の立場になって考えることと、人それぞれの能力を認め、尊重することの重要性を訴える。本当の友情と助け合いの在り方は…。 |
| 93 | ぼくの変身 やりぬく心 | 30 | 小(中・高) | 鉄棒や跳び箱運動が苦手な子供が、挫折感に襲われながらも、友人たちに励まされ、克服していく姿を描いた。正しい目標に向かって、やりぬく心の大切さ、人間関係の大切さを示唆する。 |
| 95 | 心に咲く花 | 29 | 高一般 | 万年筆を借りっ放しにしてしまったドイツの少年が、これを返さなかったら、自分だけでなくドイツ全体の恥になると考え、名前すら分からぬ日本人に万年筆を返そうと努力する。その健気な姿から「郷土愛」を考える。 |

16ミリフィルム

| | | | | |
|-----|---------------|----|--------|--|
| 169 | やさしさ | 33 | 小～一般 | 人を疑うことを知らない天真爛漫な少女と、ふとしたことで知り合った一人暮らしの老人との心のふれあいの様子を捉え、心の優しさ、思いやりの大切さについて考える。 |
| 251 | いのちの詩 | 34 | 小・中高 | もてあそばないで、たったひとつの命、生きることの美しさ、生命の尊さを訴える同人詩集「つぶやき」を出した重度障がいの若者たちの記録。 |
| 264 | やえちゃんとうたし | 31 | 小(中) | 小4の真由美は、転入したやえが嫌いだ。いじめがエスカレートして、クラスみんなに波及していくうちに、真由美の心にやえに対する同情の気持ちが芽生えていく。 |
| 271 | おじいちゃん元気になってね | 47 | 小～一般 | 動物好きの心優しい少年と、頑固爺さんとのふれあいの中で「思いやりの心」「励まし合う気持ち」を自然に学び育んでいく姿を温かい涙と笑いで綴った。 |
| 276 | かえだま日曜日 | 48 | 小 | いじめを始め、校内暴力や不登校など、現代の子供達の心の荒廃を象徴するような、数多くの事件が社会問題になっている。そこで、今日の子供達に必要とされる心の友情や思いやり等を力強く訴える。 |
| 学4 | みんなのあいさつ | 18 | 小(低・中) | おはよう、いただきます、ごちそうさま、ごめんなさい、ありがとう、の5つのパートに分け、場面に応じたあいさつ用語があることを具体的に示す。 |
| 学5 | 小さな童話 | 27 | 小～一般 | 手作りの童話をハガキに印刷して毎月半島や離島、山里の分校や施設の子供達に届け、励ましのハガキとなって広がっている、長崎の童話ハガキ運動を紹介する。 |
| 学29 | わたしだけが… | 20 | 小(中・高) | 父の仕事の関係で次々と転校し、勉強も得意でなく内向的な性格のため、クラスの誰からも相手にされない子に同情して友達になったのだが、いざという時、思わず差別的な態度をとってしまった。彼女の意識の変化を考えさせる中で差別をなくす態度を身につけさせる。 |
| 学64 | 私は負けたい | 25 | 小(高) | くせ毛の小学5年生ひろみは学校中で「スパゲッティ」「もんじゃもんじゃ」と呼ばれ軽蔑され一人ぼっちだ。ひろみの心の痛みに共感し始めていた5年の学級では、ひろみを大切にしようになった筋道を劇にして、全校児童の前で発表した。 |
| 学73 | 友だちのきもち | 25 | 小 | 掃除当番を弱い者に押し付けてさぼったり、足の不自由な子をからかったりしていた少年が松葉杖をつくはめになった。その体験を通して彼はどんなことを学んだか。 |

人権教育

| | | | | |
|-----|------------------------|----|------|--|
| 19 | 私たちの手で (農村編) | 32 | 一般 | 自主的な人権問題解決のために、「私たちの町は私たちの手で」をモットーに、奈良県の一村、瀬戸内海の小さな村、紀伊半島の山村などで「環境と住宅の改善」を目指して、活発な活動を展開している。 |
| 20 | この町を私たちの手で (都市編) | 30 | 一般 | 人権問題の解決は、まず住宅・環境改善からとの考えから、行政と住民が一体となって立派な近代建築による住宅を建設し、明るい生活を築く作品である。 |
| 25 | 5万日の日のべ | 20 | 一般 | 明治4年8月、政府は太政官布第61号、世にいう「解放令」を出した。部落の人々は涙を流して喜んだが、あくる日、「昨日のお触れは5万日の日のべになる」と言い渡される。それから100年、差別の歴史は今もなお生きているのである。 |
| 46 | 小さな愛の詩 | 31 | 一般 | 一人の少女が、心をこめて織り上げた美しい布地。それは様々な人の手に渡り、人生のドラマを織りながら、厳しい社会に埋没しようとする愛について問い掛ける。 |
| 47 | ゆがんだ視線 | 30 | 一般 | 世の中には先入観や偏見にとらわれてものを正しく見る目を失い、大きな過ちを犯す場合がある。ある町の事件を取り上げ、客観的・論理的な根拠によらずに、他人を傷つける罪深さに対して反省を促している。 |
| 56 | 部落はこうして作られた | 20 | 一般 | 差別の始まり、差別が作られた原因をたずねて人権問題の本質を探る。 |
| 79 | 明日の太陽 | 45 | 中～一般 | 差別意識がどのような人間観、社会観をもった人々の心に芽生え、部落差別を伝播し、機能していくものなのか。このテーマをわが子への親の教育的関心という今日の普遍的問題を通して明らかにする。 |
| 88 | 私たちの中の もう一つの顔 偏見の構図 | 31 | 一般 | 私たちの中には「もう一つの顔」が潜んでいる。この映画はわが子の勉強の妨げになるものは全て憎悪の対象になる母親を中心に、日常生活の中に現れる偏見や差別が、どのように生まれるかをドラマで描いた。 |
| 91 | コスモスの咲く街 | 54 | 中～一般 | 難問が山積みする部落問題の中から、就職差別にしほり、それにかからせて、若い人々の愛の問題、親子の関わりを追求し、新しい人間のドラマを描いた。 |
| 113 | いのちは緑なれど | 45 | 一般 | 紀ノ國、和歌山の実話に基づいて、植林事業に身を入れ、子々孫々に受け継ぐ生活基盤を作ることによって、部落差別をなくしていく同和地区の青年たちの愛と協同のドラマ。 |
| 125 | さくら草の詩 | 45 | 一般 | 主婦たちの噂話、日常生活の中にひそむ偏見や差別意識。同和問題を知っている人、知らない人、それぞれの変容過程を追いながら、同和地区内外の人々が幸せに生きる条件、方向を示唆する。 |
| 237 | 「みえない凶器」偏見 | 31 | 一般 | からつとした子供達の姿を対比させて、独断と偏見による悪意に満ちた大人の世界を描き、偏見の罪深さについて考える。 |
| 240 | 太郎のかがみ | 56 | 一般 | 差別されることはどんなに辛いことか、知らず知らずのうちに人の心を傷つけていないか。部落差別と障害者に対する差別の問題を子供達と一緒に考える。 |

環境問題

| | | | | |
|----|--------------------|----|-----|--|
| 34 | 大いなる自然 | 27 | 小・中 | 遠い昔から、人類は、自然と深いつながりを持っていた。しかし、経済と文明の急激な発展にともなう、自然破壊が行われ、全国的に大きな問題になっている。 |
| 63 | リサイクル文化都市を 目指して | 21 | 一般 | ゴミ処理問題に資源の再生、リサイクル社会を目指すという方向性で取り組んでいる東京都町田市の場合を実例に取り上げて、ゴミ問題を共に考える。 |

16ミリフィルム

| | | | | |
|-----|------------|----|------|--|
| 248 | ゴミ減量作戦 | 32 | 中～一般 | 昭和60年を境に、ゴミが急増し、深刻な社会問題になっている。原因と実態、清掃工場が抱える問題を科学的に分析し、平塚市が実行しているゴミ処理問題への取り組み方を考える。 |
| 学61 | 地球が危ない | 15 | 小・中 | 地球的規模で急速に進行する環境汚染・環境破壊は、想像を絶するほどのレベルに至っている。アニメーションで環境危機の様々な実態を解説し、その深刻な状況をたどる。地球に生きる人間として、今私たちがしなければならないことは何かを訴える。 |
| 学66 | 地球を救うのは君たち | 20 | 小(高) | 環境破壊や汚染の現状を見つめ、その解決のためには、私たち一人一人が環境に配慮した生活や責任ある行動をとることが重要であることを訴える。 |

交通安全・防災

| | | | | |
|-----|---------------------|----|------------------|--|
| 18 | 交通事故にあわないためにその実態と意識 | 28 | 一般 | 自動車は、厳しく規定された交通法規に従って通行している。事故防止は、車だけでなく歩行者も十分気を付けなければならない。歩行者が法規を無視し、勝手な歩き方をしているのも随分見かけるが、もう一度正しい歩き方を理解させ、安全を確保させる。 |
| 58 | ママの応急処置救急車が来るまでに | 25 | 一般 | 誰が、いつ、どこで、どんな事故や災害に遭うか、生命の危険に陥るか分からない。いざという時に実際に役に立つ応急処置の仕方を日頃から身につけておくことが大切だ。 |
| 64 | 飲酒運転その悲劇・記録 | 28 | 一般 | 飲酒運転による事故は重大になる場合が多く、被害者とその家族はもとより、加害者の家族も不幸のどん底に落ちてしまう。その悲惨さとともにドライバーの社会的責任を強く訴える。 |
| 83 | 交通事故はなぜおきる | 18 | 小 | 飛び出し事故、車の前後の横断事故、路上遊びの危険、そして自転車事故等、小学生に多い交通事故にポイントを置き、事故は何故起きるかを分かりやすい実例や実験で、安全知識を徹底させる。 |
| 105 | 自転車の安全な走り方 | 21 | 小～一般 高齢者 | 日本3周の貴重な体験をもとに出演者が、自転車の安全な乗り方、危険が生じやすい事柄、交通法規、自転車の適否などアニメを対照させて分かりやすく説明する。 |
| 106 | 自転車の交通法規 | 24 | 小～一般 高齢者 | 道路交通法規に基づき、安全で正しい走法の普及徹底に役立つことを願いながら、現実には事故の起きやすい事例を取り上げ、具体的に解説した。 |
| 186 | お年より交通安全教室 | 25 | 高齢者 | 老人の交通事故は増加の傾向にある。その原因は視力・聴力の衰えと、本人が思うより足腰が弱っているため、これら老人の交通安全について、分かりやすく具体的に説明する。 |
| 230 | 水の事故ゼロへの願い | 31 | 一般 | 子供会であった水難事故事例を分析し、水辺活動の心構えと知識を示し、同時に水辺活動の魅力を訴える。 |
| 263 | お年よりの愉快的交通安全 | 27 | 高齢者 | 高齢者の交通安全について、現職のおまわりさんが、学生時代の落語経験を生かし、落語で高齢者との交流を深めながら、指導していく。 |
| 270 | 危険を読む自転車の乗り方 | 18 | 小～一般 | 中学・高校生など若者の自転車の交通事故が、相変わらず高い率を占めている。交通ルールを守るのは当たり前、一歩踏み込んで、潜んだ危険を読む乗り方について考える。 |
| 学28 | 自転車事故は防げる | 19 | 小 (中・高) 一般 | ある小学生の、自転車による死亡事故の実例をもとにして、その原因を探っていきながら、自転車事故はどうしたら防げるか、正しく自転車に乗るにはどうしたらよいかを考える。 |
| 学43 | どうしてとびだしたの！ | 16 | 小(低) | 飛び出しの事故に焦点をあてて、実際に事故にあった子供の体験を中心に、なぜ事故が起きるのか、事故に遭わないようにするにはどうしたらよいかを、アニメの手法なども取り入れて、具体的に分かりやすく描いた。 |
| 学45 | 消防署のしごと | 20 | 小4 | 地域の消防署を例に、普段あまり人々の目に触れない予防活動や訓練を中心に描き、それが私たちの安全な暮らしと生命を守っていることを示す。 |
| 学75 | バッド大王の交通安全Q&A | 21 | 小 | 「飛び出し」「横断中の事故」を中心に色々な危険事例を描く。バッド大王と児童との問答方式によって事故防止法や留意点、交通ルールを学ぶ。 |

防犯・非行防止・薬物

| | | | | |
|-----|---------------------|----|------|---|
| 65 | 父と母への赤信号家庭を非行防止のとりに | 30 | 一般 | 小学6年生の息子の家出という問題を児童福祉司と母親の対話を通して、非行の芽生えの早期発見・予防を重視する視点で描いた。 |
| 82 | 非行って何 | 30 | 一般 | 親は、わが子だけは、非行と無縁と高をくくってはいないだろうか。子供を信じていると自負する親は多いが、娘が現実にかかっている危険な状況にあるか、その実態を正確に把握している親は少ない。その問題について鋭く問いかける。 |
| 119 | 十代の非行と親の責任 | 30 | 一般 | 青少年非行の背景には、受験中心の厳しい教育環境や、家庭教育の混迷等が考えられる。何故少年が非行に走るのか、その原因と非行防止の方策を描く。 |
| 146 | 非行少年と呼ばないで | 29 | 一般 | 環境の異なった二人の中学生が、なぜ非行の芽を持つようになったか、両親や教師がこの二人にどう対処したかなどを描き、家庭においてどのような心構えと実践で、子供に対処すべきかを考えさせる。 |
| 151 | 親と子が信じあうとき | 31 | 一般 | わが子が非行に走る前に、子供をどうしつけたらよいか、どんな環境でも誘惑に負けず、困難を克服し社会に適応していけるように子供をしつけるのは、親の責任であることを訴える。 |
| 157 | シンナー | 23 | 中～一般 | シンナー乱用は青少年の心や体を蝕み、時として彼らを死に至らしめ、傷害殺人等凶悪行為に走り、大きな社会問題になっている。シンナーなどの危険性を科学的に解明し、恐ろしさを訴える。 |
| 159 | 幼い心をどうしますか | 31 | 一般 | 中学生などの非行や暴力が頻発して、大きな社会問題となっている。この原因は乳幼児期の家庭教育にあるのではないだろうか。一事例を通して乳幼児期の家庭教育の重要性を訴える。 |

16ミリフィルム

| | | | | |
|-----|--------------------------|----|--------|---|
| 166 | 親たちのスクラム | 31 | 一般 | 非行に走った少年をどう立ち直らせたらかい。個々の親が家庭内に閉じこもらず、他の親たちと仲間意識を育て、地域ぐるみで少年たちの非行防止に力を合わせていくことの大切さを強く訴える。 |
| 197 | かよいあう心 | 30 | 一般 | 問題のある子というレッテルをはられた中学生と、車椅子で生活するひとりの老人との関わりあいを描き、少年の非行問題や非行から立ち直らせるための周囲の在り方などを紹介する。 |
| 204 | 罪の意識のない子どもたち「遊び型」非行の親の責任 | 31 | 一般 | 罪の意識のない遊び型非行が急増している。その初期段階でいかに子供に善悪のけじめをつけさせるかを描き、非行防止に対する親の責任を問い掛ける。 |
| 215 | ひとりだちの詩 | | 一般 | ある無職少年の非行の軌跡を中心に、親のあり方や自立するための周囲の協力などをドラマ化した。非行防止対策の一助とするものである。 |
| 226 | 路 | 32 | 中～一般 | 自転車置き場から他人の自転車を持ち出し、平気で乗り回す息子の行動に接した父親が、嫌がる息子とともに自転車の持ち主を探し歩き、その中で息子に罪の深さを感じ取らせていく姿を描く。 |
| 243 | 心ふるえてます(思春期曲がり角) | 31 | 中～一般 | 「盗み」という行動で何を求めているのか、それによって得たもの、失ったものは何か。思春期の子供達の抑圧された心理状態を描き、非行を未然に防ぐには親と子の間に強い絆を作り上げていくことが大切であると訴える。 |
| 244 | シンナーは君を滅ぼす | 24 | 中・高 | シンナーの魔力にとりつかれた少年とその家族との関わり合いを通して、シンナーの恐ろしさを説く。シンナーを常習している少年の心の悩みや、シンナーが社会に与える影響を考える。 |
| 250 | 反抗 少年非行を考える | 30 | 一般 | 恐喝暴行傷害事件で検挙された中学生の姉と、家庭生活や学校生活から次第に追い詰められていった少年の深層心理を探り、少年非行対策を考える。 |
| 254 | 水色のハンカチーフ | 20 | 小(中・高) | 衝動にかられて盗みをした少女の心の葛藤。それが家族や先生の信頼をどれほど裏切ることになったのか、反省と苦しみの中から立ち上がる少女の姿を描く。 |
| 学19 | 見知らぬ人のさそい | 20 | 小(中・高) | 児童に見知らぬ人からの誘いにのる危険感を教えながら、様々な言動による誘いに対処するための正しい判断、適切な態度、身の守り方等について考えさせる。 |

福祉・ボランティア・介護

| | | | | |
|-----|--------------|----|-----|--|
| 179 | 愛のある町 | 32 | 一般 | 住みよい社会生活は、行政の働きと市民の連帯意識に根ざした努力の調和から生まれる。ボランティアたちが自分の技能と時間を無償で提供し、明るい地域づくりを目指して活動する姿を描く。 |
| 213 | たくさんの愛をありがとう | 35 | 高一般 | 手足が不自由で、軽い言語障がいもある女子青年が、不安をもちながら寝たきり老人の世話をするボランティア活動を一年間続けてきた記録である。 |
| 272 | 名刺のいない仲間たち | 30 | 一般 | 今日、サラリーマンのボランティア活動への関心が高まっているといわれるが、積極的に参加意識を持っている人は、ごく少数である。企業の第一線で働いている人々のボランティア活動を通して、仕事・地域・個人の間わりを見直す。 |

高齢者問題

| | | | | |
|-----|----------------------------|----|-------|---|
| 33 | おじいちゃんの恋人 | 31 | 一般高齢者 | お年寄りにとって、何か打ち込めるものがあるというのは大切なことだが、特に異性の友達を持つことは大きな意味を持つと言われる。連れ合いを亡くしたおじいちゃんが、異性の茶のみ友達を持つことでハリのある生活を取り戻す姿を描く。 |
| 43 | おしゃれなおじいさん | 30 | 一般高齢者 | 最近めつきりおしゃれになった祖父「こんな年になって」と祖母はいぶかしがるが、年頃になった孫娘を連れて喫茶店に行き、話をするのが楽しみというおじいちゃんの生活から、色々なことを学ぶ。 |
| 76 | どっこいおいらに老後はない新しい高齢化社会をめざして | 28 | 一般 | 高齢者の生きがいや社会参加によって描かれていく中で、高齢者事業団の必要性と設立を意義深く訴える。 |
| 107 | 豊かな高齢期 | 28 | 一般高齢者 | 長い人生経験を持つ高齢者の中には、貴重な知識や技能を併せ持った人が多い。社会のためにこの人たちにどのように呼びかけ、どんな形で活動してもらうかを例をあげて説明する。 |
| 116 | 愛されるお年寄りに | 29 | 一般高齢者 | 年をとるに従い、人間は肉体も精神も老化する。そんな自分に気づかず、愚痴、ひがみなどで問題を起すお年寄りを軽快なタッチで描き、人から親しまれ、愛されるお年寄りになるための心構えと実践例を紹介する。 |
| 143 | ボケない老後 | 31 | 一般高齢者 | 生理的老化は誰にでも始まるが、頭の老化は日常の生活によって違ってくる。具体的にはどうすればよいか、専門医の話を入れて4人の生き方を描き、頭の老化防止方法と、心得を示唆する。 |
| 170 | 老年期をどう生きるか | 33 | 一般 | 元気に頑張っている4人の老人の生活ぶりを追いながら、老年期に入る人々が明るく老後を生き抜いていくには、どのような心構えが必要であるか問いかける。 |
| 171 | 熟年の季節 | 27 | 一般 | 老後の生きがいとは何か、何が生きることの喜びか、どんな生活に充実感を覚えるのか。これから高齢期を迎える中年層を対象として、老人に対する意識を高める。 |
| 231 | わが家はただいま362歳 | 34 | 一般 | 近年の老年人口の増加に伴う多世代同居の問題を家族と考え、具体化の仕方考える。 |
| 235 | ボケを防ぐ | 29 | 一般高齢者 | これから老年期を迎える中高年の人々が、ボケにならないためには、日頃どのような対策を立てて予防したらよいか。 |

16ミリフィルム

| | | | | |
|-----|------------|----|-----------|--|
| 236 | 風の色が見えた | 32 | 一般 | 定年後、無為の生活を送っていた男が、仲間と出会い、社会参加の喜びを知って「元気である限り働くことは素晴らしい、生きることは美しい」と生きる喜びを見出していく作品。 |
| 242 | 親の扶養 | 30 | 一般 | 最近、老後を自立して生きようという老人が増えている。しかし、どんなに健康でも、経済的に恵まれていても、必ず体が不自由になる時が来る。親の扶養についてお互いの立場を尊重しながら、温かい雰囲気を作る必要性を描く。 |
| 252 | 人生航路 | 30 | 一般 高齢者 | 長くなった人生をどう生きるのか、それは社会的にも大きな問題になっている。行政はそのための方策を講じているが、シルバー人材センターの仲間たちは、全国各地でユニークな活動を行っている。人生80年時代に生きがいの大切さを説く。 |
| 265 | 春ふたたび | 30 | 一般 | 老人クラブのダンス教室で、一人暮らしの女性と知り合い、結婚を考えるおじいちゃんが、自分なりの夢を持って生きていく様子を描いた。 |
| 267 | おじいちゃん出発進行 | 29 | 一般 高齢者 | 妻を亡くした老人が、妻に似た老女に心を寄せつつ、敬老会館の仲間たちとの交流を通して、新しい生きがいを見出していく。 |

健康管理

| | | | | |
|-----|---------------------------|----|-----------|---|
| 10 | 勤労青年と心の健康 | 29 | 高 一般 | 近頃、身体の不調を訴える若者たちが増えている。それは何故か。ストレス解消のために心の健康を取り戻すために働く青少年に安らぎの場を。 |
| 24 | 成人病の予防 高血圧症を中心に | 20 | 一般 | 脳卒中や心臓病の原因となる高血圧は、ほとんど自覚症状がないだけに本人がその恐ろしさを自覚しなければ予防することができない。成人病、高血圧症を中心に解説する。 |
| 42 | 健康な老後のために | 22 | 一般 高齢者 | どうしたら幸せな老年期を過ごすことができるのか、長寿者の生活や意見をまじえながら、健康の維持や健康管理の方法、心構えについて考える。 |
| 60 | 母と子の虫歯予防教室 | 24 | 一般 | 乳歯期の大切さ、幼児の虫歯の原因は何か、その予防はどうしたら良いか、などについて描き、丈夫な歯を持った子に育てる正しい育児の在り方について考える。 |
| 61 | 糖尿病の予防 | 28 | 一般 | 糖尿病の基本知識を与え、定期的健康診断の必要性を覚え、早期発見、早期治療に心がけ、重症化への道を断つことの重要性を呼びかける。 |
| 62 | ガンの予防 | 29 | 一般 | ガンの要因を知り、危険な要因に近づかぬよう日頃から心がけることが、がん予防の第一のとりでである。予備という面からガンをとらえた画期的な作品である。 |
| 99 | 育ち盛りの体づくり | 28 | 一般 | 年々増加している骨折事故の原因を解明しながら、育ち盛りの子供達が遊びの中で基礎になる体力を身につけていく様子を動物実験などで科学的に描く。 |
| 104 | 心臓病の予防 | 28 | 一般 | 年々増加傾向にある心臓病で、虚心性心臓病とは何か、その仕組みを探り、現代生活の中で日常の生活習慣を見直すことによってその予防対策を考えさせる。 |
| 142 | タバコ | 26 | 中～ 一般 | 喫煙による害が肺がんばかりではなく、一酸化炭素やニコチンの影響で、虚血性心疾患や妊婦の胎児への影響が問題視されている。タバコが人間の健康に与える恐ろしい害を視覚的に明らかにする。 |
| 160 | 運動していますか | 29 | 一般 | 健康とは「栄養・運動・休養」がうまくみ合って、心身共に張りがある状態である。中高年者の運動を取り上げ、運動生理学的な知識を解説しながら、自分でできる健康づくりを考える。 |
| 194 | 40歳を過ぎたら 成人病の基礎知識 | 30 | 一般 | 40歳を過ぎると老化現象が現れ始め、成人病(がん、脳卒中、心臓病)が現れる年齢と言え換えられる。成人病の実態と対策について解説する。 |
| 206 | 食生活を考える 食品添加物を中心に | 26 | 一般 | 発色剤や着色剤、リン酸塩など食品添加物の使用の状況や、添加物の健康に与える影響、その対策などについて説明する。 |
| 210 | たばこと健康 | 20 | 中～ 一般 | たばこの煙の有毒性、ニコチンや一酸化炭素の害、気管支に与える害、生殖機能に及ぼす影響、受動的喫煙の害など、百害あって一利なしの健康への悪影響を科学的に描き、未成年者への喫煙防止を強く訴える。 |
| 222 | 子どもの成人型糖尿病 | 18 | 一般 | 最近、子供の成人病が増えている。成人型糖尿病の原因、メカニズムをアニメーションで解説し、家庭での生活が予防のかぎであることを訴える。 |
| 245 | タバコの煙に巻かれるな! | 12 | 中・高 | ガン・脳卒中・心臓病。タバコは日本人の死因のワースト3全てに深い関係がある。それにも関わらずなぜかやめられないタバコ。この作品はタバコを吸わない人への影響を含め、タバコの害に鋭くメスを入れる。 |
| 249 | 心と体の健康 ストレス社会を 生き抜くために | 29 | 小～ 一般 | 心と体は密接に結びついており、ストレスと遭遇すると心が動揺するだけでなく、体も色々な症状を呈する。そうした心と体の病気の原因や予防法、治療法を紹介し、ストレスにみちた現代社会を生き抜く方策を考える。 |
| 266 | それからの季節 | 30 | 一般 | 青壮年期から老年期を迎えようとしている時期に、女性は閉経という身体の変化を迎える。新しいライフステージを創造するために、まず、自分自身の身体の声に耳を傾ける必要性を説く。 |
| 274 | こだわりから優しさへ | 33 | 一般 | 性には、生殖のための性、コミュニケーションの性、快楽の性とがある。中年に差し掛かり、体の衰えや変化が起こってくる中で、私たちは性をどのように捉えたらよいのか。 |
| 学47 | 横にそだった少年 食べものと私たちのからだ | 16 | 小 保護者 | 子供にとって食べ物と栄養は重要である。身近な食べ物と健康について、楽しく分かりやすく解説する。 |
| 学62 | むし歯と歯肉の病気 | 15 | 小(高) | 歯の病気として虫歯と新しく加わった歯肉炎を取り上げ、その原因と特徴を明らかにしながら、児童が自分で自己検診できることを教える。 |

16ミリフィルム

家庭教育・家庭生活・学校生活

| | | | | |
|----|----------------------------|----|-----------|--|
| 2 | 竹とんぼ 父と子の語らい | 30 | 一般 | 現代に生きる親は、仕事で子どもとの精神的な交流に手が回らず、物質を介して親と子の絆を保っている。そういう悩みを持つ父親が、ふとしたことから始めた親子での竹とんぼ作り。ナイフの使い方を息子の手をとって教える父親の愛情に、子供の心は満たされていく。 |
| 3 | わが家のおこづかい教育 | 30 | 一般 | 現代の子供はがめつい、打算的とよく言われる。また、金銭感覚は、大変弱いというチグハグさ。こうした子供達の現実に対して金銭についての正しい欲望の持たせ方、おこづかい教育の必要を訴える。 |
| 4 | おかあさん学校にこないで 学級PTAのもちかた | 32 | 一般 | 「集まらない」「話さない」「動かない」PTAから、どのようにして脱却するか?この映画はそうした試みの具体的な例のひとつの記録である。 |
| 7 | 家庭のしつけ | 33 | 一般 | 立派な社会人となるあなたの子ども。その第一歩は幼児期の家庭でのしつけに始まる。それには何気ない生活の流れの中で行う、しつけの指針となるものが必要であり、しつけの考え方・技術などについて触れる。 |
| 17 | 偏見 | 33 | 小・中 一般 | 暮らしの中の小さな偏見が、一人の少年の善良な魂を大きく傷つけてしまうという物語を通して、偏見の恐ろしさを知らせ、それをとりぬくためには家庭という小集団における日常的なしつけがいかに大切かを訴える。 |
| 22 | 親子とはなにか | 31 | 一般 | 「こんな子供に育てた覚えはない」という母親の嘆き。何がそうさせているのだろうか。二人の初老の婦人の生き方と子育ての姿を描いて、今日の親子の絆のよろさを示唆し、現代の親子関係に欠けているのは何かを考える。 |
| 23 | 親と子の結びつき | 31 | 一般 | 子供の心と親の心がしっかりと結びつくのはどういう時なのか?それは子供が親の愛情を肌で感じた時、自分が親に信頼されていると知った時である。ある平凡な一家の中学生と小学生の目を通して追究する。 |
| 29 | お母さんが作ってくれた | 32 | 一般 | 自分の子供に、自家製のパンを焼いて喜ばれた主婦の体験から、子供たちに正しい消費生活観を育てていくにはどうしたら良いかを示唆する。 |
| 30 | 善悪のけじめ わが子を非行から守る | 28 | 一般 | 近年の非行は低年齢化と罪の意識のうすい遊び型非行が増加傾向にある。その背景には親の過保護、放任があるとされるが、何よりも幼少年期における善悪のけじめのしつけに欠陥があるとされている。わが子を非行に走らせないための親のあり方を問う。 |
| 31 | 大人になれぬ若者たち 過保護と子どもの自立 | 33 | 一般 | 核家族化、少子化、高齢化などの影響で、子供に過保護な親が増加している。その過保護の意味や子供の成長、特に自立に与える影響を探り、まず親が子供から自立することが必要であると説く。 |
| 40 | 家庭とは何か | 31 | 一般 | 激しく移り変わる社会で、今家庭の存在意義が問われている。人間の形成の場としての、家庭の役割を今後充実させていくことが大切であることを訴える。 |
| 44 | 叱られない時代 叱れない親 | 30 | 一般 | ほめることはよく、叱ることはいけないという風潮は、叱ることを嫌がる人間、叱れない親を作る。正しく叱ることの教育的意識の重要性を生かすためには、叱れない親からの脱皮が必要である。 |
| 45 | 家族の構図 | 31 | 一般 | 夫婦・親子・兄弟・嫁・姑のあり方を考える。円満な家庭の人間関係を作るには、家族の一人一人が、どのような配慮をすべきかを考える。 |
| 49 | 子どもを伸ばす叱り方 | 30 | 一般 | 自分の気まぐれや都合で、ほめたり、叱ったりしていないだろうか。しかしそれでは子供がかawaiiそう。叱り方や誉め方は子供の人間形成に大きく関わる。叱る、誉めることの意味について考える。 |
| 51 | お父さんあなたの出番です | 31 | 一般 | 父親は職場で働き、家庭教育は母親というのが、日本の平均的な家庭の姿である。母親中心の家庭教育の問題点を探り、家庭内で父親が果たさねばならない役割を訴える。 |
| 52 | 老人の心をひらく | 32 | 一般 高齢者 | 老人の心の変化とその特性を描き、お年寄りの人間性回復のために愛情ある接し方を示し、老人の幸福のないところに私たちの幸福はないという事を示唆する。 |
| 54 | 子どもに働く経験を | 31 | 一般 | 知識偏重の教育や、少子化、家庭の電化によって、子供達が家庭内で働くことが少なくなった。子供達は働く経験を通じて自主性や創造性を身につけていくのだ。 |
| 55 | 揺れ動く高校受験生 ある中学教師の記録 | 30 | 中～ 一般 | 高校入試に失敗した中学生の自殺にスポットをあて、この悲劇が繰り返されないよう訴えている。 |
| 66 | 相手の身になって 生活の中の人間関係 | 32 | 一般 | 夫婦間・隣近所・嫁・姑・夫の話から構成され、相手の身になって考える心の余裕をもつことの大切さに気づき、実践していく心構えをつくる。 |
| 72 | 息子の友だち | 31 | 一般 | 友達とは何か。特に若い人々にとって友だちとはどんな存在か。親として子供の友達をどう考え、どう対応していくべきか等を検討する資料。 |
| 73 | わが家の第3日曜日 | 30 | 一般 | 地域の子供達のために、第3日曜日にわが家を開放し、親子の交流を深めたある家庭の姿を通して、これからの親子、家庭と地域社会の在り方を描く。 |
| 74 | 子どもに読書の喜びを | 29 | 一般 | 子供に良い本を読ませたいと願う母親たちの様々な活動を描きながら、家庭や地域で子供を本に親しませ、読書の喜びを与えていくにはどうしたら良いのかを示唆する。 |
| 75 | 嫁姑の絆を考える | 31 | 一般 | ちよつとしたきっかけが相互不信を生みやすい嫁姑のデリケートな関係。やさしい思いやりで満ちた人間らしい絆を築くためにはどうしたらよいのか。嫁と姑問題について考える。 |
| 81 | 母と子の旅 自然歩道に行く | 32 | 一般 | 母子が二人の足で確かめた「手作りの旅」を通して、日常生活の中で見失いがちな自然と人間、親と子のつながりとは何であるかを新鮮によみがえらせる。 |
| 84 | おばあちゃんが帰ってきた | 34 | 一般 高齢者 | 孫娘がおばあちゃんによせる愛情を描きながら、祖母と両親、特に嫁と姑の関係がいかに子供に影響を及ぼすものであるかの問題を提起している。 |

16ミリフィルム

| | | | | |
|-----|-----------------------|----|-------|--|
| 85 | 老人と少年 年輪は語る | 32 | 小・中一般 | お年寄りには長い人生体験から良い事、悪い事、正しい事、正しくない事などに対する貴重な生活信条を身につけている。指導者としてのお年寄りの姿を通してドラマで描く。 |
| 86 | 思い出の一冊の本 子供と読書 | 30 | 一般 | 本を読まなくなった子供達をどうすれば本に親しませることができるか、それがいかに子供達にとって必要かをドラマ形式で描いた。 |
| 87 | 父この強きもの | 30 | 一般 | 厳しい職場で働く父親が、わが子の目にあまる甘え、母親の過保護ぶりを見た時、同じように育ってきた部下に、わが子の将来を見た。これではいけないと父親は方針転換、妻や子はどう反応したか。子供の教育に対する親の姿勢を考える。 |
| 90 | 結婚とは | 31 | 一般 | 近頃は結婚に対する考え方が変わってきて、愛と性以外はいっさい形式だとする個人主義化が進んでいる。結婚に先立って二人がお互いに理解しあっておかなければならないことを考えさせる。 |
| 92 | 親の知らないところで | 31 | 一般 | 万引きをした二人の少年と、その親を対比して、わが子を非行に走らせないためには普段から親自身が善悪の判断を的確に示し、信頼関係を築く必要があることを訴える。 |
| 96 | 妻ありてこそ | 31 | 一般 | 仕事に定年はあっても、夫婦には定年はない。夫の病気を機にやがて来る夫婦だけの生活に備えて、自分自身の生活設計を立て、努力を重ねていくまでの心の軌跡を描き、主人公の妻の心構えを問い掛ける。 |
| 98 | こころ | 32 | 一般 | 人の心の大切さを老人ホームに入った祖父を思う少年の心を通して考えさせ、家族の人間関係、ひいては家庭の在り方を示唆する。 |
| 101 | 働く母 その子供の心に残るもの | 33 | 一般 | 小1と4歳の子供を抱えて共働きをしているある平凡な一家生活を通して、留守児童に必要なのは母親の世話の量ではなく、質の問題であり、子供と密接に結びついていることが大切だという事を劇形式で描く。 |
| 102 | 心を育てる子供の遊び | 20 | 一般 | 子供達は様々な遊びを通して創造性を培い、仲間意識や社会性を身につけ、身体機能や運動神経の発達を促している。子供達をどう遊びに導いていくかを描く。 |
| 103 | おかあさんちよっと待って 母と子の人間関係 | 30 | 一般 | 子供のしつけは、家庭の中で温かい人間関係を持った親と子の心のふれあいが必要だ。しつけは、それぞれ年齢に応じてその立場を尊重しながら理解をもって当たる必要があると訴え、どのようにしたらよいかを紹介する。 |
| 110 | 親が子供に語りかけるとき | 31 | 一般 | 小中高校生の自殺や非行・家庭内暴力など、心の荒廃を示す事件が相次ぎ、家庭教育の在り方が問われている現代、子供のしつけの基本は子供を一個の人格と認め、自覚と責任を持たせることだと気づかせる。 |
| 111 | 現代親孝行を考える | 32 | 一般 | 親孝行は、いつの時代にも大切な美德である。現代社会に適応した望ましい親孝行を実践するには、どのような心がけを持てばいいのかを中年夫婦と老親との関わり合いの中で描いた。 |
| 112 | 僕学校はきらい | 30 | 一般 | 小学3年生の登校拒否の原因を探ると、生育環境では、わが子の親への全般的依存から段階的に自立への道を歩ませる環境作りが必要であることを訴える。 |
| 114 | 育ちゆく心 | 30 | 一般 | 非人間的な事件が頻発するのは、正しいもの、美しいものに感動できる感受性がないからではなからうか。知育偏重教育の問題点を取り上げ、感動の教育こそ心の育成につながることを示唆する。 |
| 115 | 他人の子を叱った私 | 31 | 一般 | 全国に広がった「他人の子を叱る」運動の根底に流れている精神とは何かを探り、親だけで子供を育てていく限界、今日の家庭教育、地域ぐるみの教育の在り方を考える。 |
| 118 | 三世代家族 | 32 | 一般 | 祖父母を含めた3世代家族のよさが見直されている。子供夫婦や孫に対する老親の役割、家庭全体に与える影響などを考えながら、長い人生経験の知恵をもった生活文化の伝達者としての素晴らしさを描く。 |
| 120 | 旅 | 29 | 一般 | 一人の少年の旅を通して、父親はどんな時にどんなことをどのように自信と勇気をもってわが子に諭すことが大事なことを示唆し、家庭教育の父親の果たす役割の重大性を訴える。 |
| 121 | お母さんが走った | 34 | 一般 | 共働きと子育ての喜びと悩み、姑と嫁の子供の育て方についての考え方の違いから起こる問題を夫婦の働く姿を織り交ぜながら描き、この問題の解決には家族の理解や協力、思いやりが大切なことを示唆する。 |
| 123 | 子供は自殺を予告する | 30 | 一般 | 子供の自殺を考える時、親の方に矯正すべき多くの問題がある。わが子の日常生活を見つめて、一人一人に合った処方箋を親自身で作り出さなければならないことを示唆する。 |
| 124 | お母さんの自立宣言 | 30 | 一般 | 家庭にあつて家事や子育てに従事している主婦も、やがて来るであろう子離れの時期に備えて今から目標を立て、自立の芽を育てていくことの大切さを考える。 |
| 126 | 手のひらの詩 | 32 | 小～一般 | 物を大切にしようとする心がける親、そんな親の姿を理解しつつもたまに反発する子供、そういう家庭の姿を捉え、物を大切にすることを育てることの大切さについて描く。 |
| 130 | 飛べない紙ヒコーキ | 32 | 中一般 | 高校受験で悩む中学生が、ふとしたきっかけで知り合った勤労青年との関わりの中で、自らが進むべき道を感じ取っていくと共に、子供の飛躍する心に対する親の励ましの大切さを描く。 |
| 131 | 反抗期 心をひらく交換ノート | 30 | 一般 | 自我意識が育ち、自分の世界を作ろうとする中学生の少女と、子供の心の変化に気づかず、干渉や束縛をしようとする母親との対立が交換ノートにより解決していく過程をドラマで描く。 |
| 132 | 母親の願いと父親の役割 | 30 | 一般 | 学校の成績にとらわれず、父親として、子供に社会的なものの見方や考え方を身につけさせることの大切さをドラマ構成で描く。 |

16ミリフィルム

| | | | | |
|-----|-------------------------|----|----------|---|
| 133 | 一年生になるために 就学前の準備 | 31 | 一般 | 一年生を迎えた子供達は、入学前のお母さんの生活指導の中から、問題を起こす芽生えがあることを訴え、就学前児童、新入学児童をもつお母さんへ注意と心得を与える。 |
| 134 | 嫁と夫と姑たち | 29 | 一般 | 嫁と姑がそれぞれ役割を円滑に遂行し、平和な家庭を築き上げていくにはどういう心がけが必要か、更に夫や姉妹たちはどのように行動すべきかを考える。 |
| 135 | この道はいつかくる道 | 37 | 一般 | ぼけのお爺さんを引き取ったある一家の嫁と、その娘の献身的な努力や愛情がぼけ老人の心の窓を開かせていく過程を描いた。 |
| 136 | 子供の心にふれる 暴力をふるう中学生 | 28 | 一般 | 有名中学校への進学失敗から、登校拒否・家庭内暴力へとなった生徒の家庭で、両親がこれまでの教育の在り方を反省し、真の愛情に目覚めていくことにより子供が立ち直っていく過程を描いた。 |
| 138 | 希望の船 | 35 | 一般 | 船上生活者の主婦の生活記録を基にして、厳しい現実の中で、家庭愛に結ばれた家庭を描き、精神の荒廃を感じさせる今日、あらゆる面で生活を見直すのに参考となる。 |
| 139 | だれもが通る道 青年期の親子関係を考える | 28 | 一般 | 何でも話し合えたわが子が、急に無口になり、よそよそしい態度をとるようになって親子の断絶…。その不安におののく家庭を描き、青年期における親子間の葛藤や断絶がなぜ起き、それにどう対処すべきなのかを考えさせる。 |
| 140 | おばあさんの手 やさしさをつたえる | 30 | 一般 | 家庭でどのようなしつけ、教育が必要なのか、幼稚園児を見つめてきた保母さんの、少女時代の成長過程を追い、子供達に生命の尊さを教え、優しい、いたわりの心をいかに育むか、大人の役割を考えさせる。 |
| 141 | 親ばなれ子ばなれ | 31 | 一般 | 青年期の子供は親の思い通りにはならず、親との対立が生じてくる。陶芸家を志している子供と、親との葛藤を描き、親子の関係はどうあるべきかを考える。 |
| 144 | 善悪のけじめを育てる | 31 | 一般 | 幼児が過ちを犯すのは普通のことだが、過ちを過ちと悟らせるのは親の務めであり、それを実行している親と欠落している家庭ではその影響が子供にどのように現れているかを色々な例にとり、善悪のけじめの大切さを訴える。 |
| 145 | わたしの育てた二人の子 | 29 | 一般 | 兄弟を育てることは難しい問題を含んでいる。親の関わり方、性格の違う兄弟をどう育てたいのか、色々な面から追求し、兄弟を上手に育てるための注意点について考える。 |
| 147 | ニホンザル母の愛 | 30 | 小～ 一般 | 四肢奇形のニホンザルの母親が、ハンディを克服して、子育てにたくましく生きていく姿を四季を通して追い、ニホンザルの野生の生活を探り、愛情の深さを教える。 |
| 148 | 親はわかってくれない | 31 | 一般 | 親の過大な期待に心をゆがめ、重圧にあえぐ少年達。その心の声を聞く日頃の努力の積み重ねこそ、わが子を非行から守る最大の手段である。難しい年頃の子供との心の絆を深めるため、どうすれば良いか。 |
| 150 | 生き方とは | 58 | 一般 | 家庭で起こった一つの事件がきっかけで、子育てや老人扶養をめぐる独断や偏見があらわになり、家族が揺れ動く。お互いが心を開き、人格を認め合い、正しい価値観を育てることの重要性を示唆する。 |
| 152 | 自立のこころ | 32 | 一般 | 一人の少年が野球に情熱を燃やしている友人との交際の中で野球が上達するには、野球の基本をマスターすることが大切という話にヒントを得て、学習の基本を発見する過程を描く。 |
| 155 | 太陽のない子ら | 30 | 一般 | ルポライターとしての仕事を持つ主婦が、取材中に出会った少年とそのグループやわが子とのふれあいを通じて、温かい愛情とは何か、家族の在り方とは何かを考える。 |
| 161 | 父よ母よ子よ | 29 | 一般 | 父親が家庭教育の少なくとも半分の責任を常にもってくれるという安心感を母親に与え、父親と母親のチームワークが子供の教育にいかほど大切であるかを示唆する。 |
| 165 | 親父は背中を叱ってくれた | 31 | 一般 | 中学生が求めているものは何か。不良グループに入っていた息子が犯した過ちを身をもって正そうとした父の姿に、少年たちはどう反応したか。感動的な実話を基に、教育の本質、父の役割を考えていく。 |
| 172 | お父さんお母さん けんかしないで | 33 | 一般 | 子供の前で言い争いをする夫婦、そんな両親に不安を持つ子供達の家庭を描き、両親の不和が子供の心にどのような影響をもたらすのかを考える。 |
| 175 | 別れ道 | 34 | 一般 | 単身赴任から帰ってきた父親が、受験期の焦りから不安な日々を送る息子を見て、親としての対応はどうあるべきか、親の考えや態度のあるべき姿を考える。 |
| 176 | イギリスのある家庭生活 | 29 | 一般 | ロンドン郊外に住む一家庭の日常生活の中で、子供の自立心を育てるために両親がどのように「しつけ」を行っているかを克明に記録し、「自立心の育成」のための「しつけ」の在り方を考える。 |
| 177 | 陽のあたる家族 | 32 | 一般 | 東北の盛岡を舞台に、仕事に丹精をこめる南部鉄器の鋳物職人の父親、そんな夫を助ける優しい母親、両親の豊かな心を受け継ぎながら、すくすく育っていく子供達の一家を描き、真に豊かな生きがいのある暮らしとは何かを考える。 |
| 181 | 子どもだけの食事 | 30 | 一般 | 家庭のコミュニケーションの場「食卓」が失われようとしている。子供だけの食卓が栄養面、心理面、健康面に与える影響を考え、食事のもつ意味と子供の人間形成にとって大切な、楽しく豊かな食卓の必要性を訴える。 |
| 183 | いじめっ子いじめられっ子 | 30 | 一般 教師 | いじめっ子、いじめられっ子の事例を通して、その原因の背景を探りながらいじめの問題を克服していくには、親と教師が協力しあい、どう対処していくかを考える。 |
| 190 | 青春期のわが子へ | 31 | 一般 | 大学受験を間近にして行き詰まりを感じ落ち込む息子、子供の成績の低下や反抗に悩む親という家庭を描き、青春期の悩みと焦りに対して親としてあるべき姿を考える。 |
| 192 | 高校進学親のアドバイス | 34 | 一般 | 全国の高校で中途退学する生徒数は年間10万人あまりいるといわれる。理由として学校生活や学業への不適応が挙げられる。中学生の進路決定に関しての親のアドバイスを考える。 |

16ミリフィルム

| | | | | |
|-----|----------------------------|----|-----------|---|
| 203 | 価値ある償い 善悪のけじめと親の態度 | 30 | 中～ 一般 | 初めて万引きをし、その行為を恥じ、悩み続ける中学1年の少女と、娘の万引きを知り驚く親の様子を描き、子供の万引きの原因の多くは、親の日常生活に対する姿勢が大きく関わっていることを示唆する。 |
| 205 | 私たちの井戸端会議 | 31 | 一般 | 近隣の母親たちが、子供の教育の在り方について、身近な場で相互に学びあい、気軽に情報交換や相互扶助が行われていく中で、家庭での子供への教育能力が次第に高められていく様子を捉える。 |
| 207 | がんばったねお母さん | 39 | 小～ 一般 | 自分中心の考えから、働く母親に不満をいまく小学4年の女の子が、母の会社勤め10周年記念を機会に、次第に母の立場を理解していくようになる心の変化をとらえた作品。 |
| 208 | わが子を伸ばす親の一言 | 29 | 一般 | 子供のやる気を育てるため、日常生活の中でのちょっとした工夫や、子どもに対する言葉使いは大きな影響を与えることを、具体的な事例をもとに描く。 |
| 209 | 本好きな子に育てるために 本いっぱい愛いっぱい | 28 | 一般 | 視覚に訴えて合理的に思考を処理していく映像文化と、一字一句を自らの力で読み砕き、イメージを広げる活字文化の違いを確かめ、本を読む子供達をいかに育てたらよいかを具体的な事例をもとに描く。 |
| 212 | そこに・愛 | 32 | 中～ 一般 | 祖母の死を機に、都会に住む息子夫婦と同居する祖父、成績低下を祖父に部屋を提供したためだと責める中学生の孫、そして息子夫婦の三者の関わり合いを描き、家族の愛とは何かについて考えさせる。 |
| 219 | 見なおそうわが子のしつけ | 29 | 一般 | 勉強は学習塾、生活習慣や非行の責任は学校に、という家庭が多い。こうした家庭における教育機能の喪失が問題にされている中で、学校と家庭の役割のけじめを考え、親が家庭で責任をもってしなければならないポイントを学校との対比の中で明らかにする。 |
| 220 | お母さんもっと聞き上手に | 30 | 一般 | 登校拒否の子どもの行動に動揺する母親が、その原因を追っていく中で、日頃親として子供に対する接し方が大きく影響していることに気づいていく姿を描く。 |
| 221 | 家族のきずな 三世同居と私 | 28 | 一般 | 娘の結婚を契機に、息子夫婦と同居するようになった祖父、突然の同居に戸惑いながらも懸命に世話をする嫁、そして二人の子供という三世家族の同居作戦を微笑ましく描く。 |
| 225 | 20才の旅路眩ゆく | 36 | 一般 | 成人式を目前にした女子短大生の振袖をめぐる心の葛藤を描き、人間が成長していく過程で家族の絆がいかに大切かを考え、今日の社会へのひとつの警鐘とし、生きることの喜びと素晴らしさを訴える。 |
| 227 | 背負子日記 | 32 | 一般 | 親、子、孫の3つの世代にわたる家族間に起こった問題を通して、家族関係のあり方、真にいきがいのある生活とは何か、現代的なテーマを問う。 |
| 228 | 夫の定年妻の定年 | 32 | 一般 | 高齢化社会を迎えた今日、二人だけの人生の長い午後を有意義に過ごすには、夫と妻はどういう関係を作っておくべきなのかを考え、そのためには早い時期から心の準備が必要であることを訴える。 |
| 234 | 根気づよい子に育てる | 31 | 一般 | 欲望の肥大化の風潮の中で、親は子供の言うままに与えすぎではないだろうか。その結果、子供を他人任せ症候群にしてはいないだろうか。親の役割と責任を描く。 |
| 238 | 小さな「ふれあい」から…! | 27 | 一般 | 市民生活の活動の場、人々のふれあいと仲間意識の高揚、グループごとの交際と広め方、公民館活動の中で自由に感性をのばす。家庭生活の中での他人への思いやりを描く。 |
| 247 | 夫と妻の豊かな 老後のために | 30 | 一般 | 親と子は、いつかは別々の人生を歩んでいくのだから、互いに甘えを捨てて、それぞれの人生を自分で築く、という積極的な気持ちで生きていかなければならない。そうした問題をドラマ仕立てて描く。 |
| 256 | 空高く夫婦とんぼ | 30 | 一般 高齢者 | 長年連れ添ってきた夫が、脳卒中で倒れ、入院…。そして退院、リハビリ。みんなに助けられながら、一生懸命介護する中で、妻は様々な発見をしていく。夫婦のあり方、親と子、祖父母と孫のかかわり、美しく老いることの意味を考える。 |
| 258 | 子どもの失敗を生かす | 30 | 一般 | 子供の失敗を叱ることはやさしいが、子供の心を傷つけるだけ。それよりも失敗を生かすことで、やる気を持たせるにはどうしたら良いのか。鍵を握っているのは、親の態度だ。 |
| 259 | No! というのも親の愛 | 30 | 一般 | 親の顔が見てみたいと思うような青少年の事件が頻発しているのはなぜか。三遊亭円楽の辛口家庭教育論をベースに、子供の真の幸せとは何か、立派に育てるためには親は何をすべきか、本当の意味での親の愛情とは何かを問いかける。 |
| 260 | わが子の長所が みえてますか | 30 | 一般 | 子供の将来を思いやるばかりに、わが子の短所ばかり見えてしまうのは、親の宿命かもしれない。近所の子供を預かった良子の目を通して、長所を見つけ、励ますことこそ子供を育てる王道だという事を訴える。 |
| 261 | あなたの子育て まちがっていませんか | 28 | 一般 | 自主性・実践力のない若者が生まれる背景に、過保護・過干渉という親の養育態度が大きな問題としてあげられる。自立できない若者が生まれる背景と、将来を見つめた子育てのポイントを考える。 |
| 262 | 学校に行けない子どもたち | 30 | 一般 | 子供達を取り巻く様々な要因が絡み合っただけで登校拒否が生まれる。この問題を初期段階と言える小学生にスポットをあて、この問題を取り上げる。 |
| 273 | ならぬことはならぬ | 29 | 一般 | いじめ等の少年問題の要因として、幼少時期の家庭のしつけに一貫性のなさが挙げられる。家庭教育では父の厳しさと母の優しさが求められている。家庭の中の父親の存在とは? |
| 275 | すばらしいわたしの おじいちゃん | 35 | 一般 | おじいちゃんと一緒に暮らすようになった孫娘を通して、世代間の断絶により思いやりの精神が忘れられかけている今日、お年寄りへの愛情や尊敬を考えさせ、生命の尊さについても教えてくれる。 |

16ミリフィルム

地域社会生活・社会連帯意識・人間関係

| | | | | |
|-----|--------------------|----|------|--|
| 6 | 光子の生き方 | 31 | 一般 | 働く青年たちは、色々悩みを持っている。その多くは明日の希望も生きがいも見出せず、その日暮らしの享楽主義に走ったりしている。そこで奉仕活動に励む青年と、その恋人との明るいドラマを通して、若い者の生き方に示唆を与える。 |
| 13 | 思いやり | 30 | 一般 | 物の豊かさと共に、心の豊かさを持つことによって、お互いの生活が真に豊かになる。今の世の中に欲しいもの、それは他人を思いやる温かい心、そして心と心のふれあい…。社会に息づく者同士の連帯感である。 |
| 21 | 青年の生活設計 | 31 | 一般 | 今までなんとなく生活してきた若者が、恋人の助言やたくましく生きる社会人との接触により自分の生き方を変え、目標を持って着実に努力することを学ぶ姿を描き、青年の生活設計はどのように役立てればよいのかを示唆する。 |
| 35 | 働く青春 その愛と性 | 28 | 高一般 | 愛の不毛と言われる現代に生きる青年たち。特に働く若い人々に真剣に考えて貰いたい。本当の青春とは、真の愛情とは、そのあり方とは、そうした問題を共に考え探る。 |
| 36 | 断絶 若者との対話 | 31 | 高一般 | 父と子、年輩者と若者。この対立は大きな社会問題となっており、互いの批判、反目が不信や断絶を生んでいる。ある職場での年長者と若者の意識や価値観の違いを追及し、若者に対する年輩者のあり方を具体的に示唆する。 |
| 41 | こんにちはお隣さん | 31 | 一般 | 地域社会の閉鎖的、孤立的な隣人関係に、心の触れ合い、はだかの付き合いを取り戻そうという、社会教育のひとつの大きなテーマを追求する。これからの隣人関係はどうしたらよいか、今までの隣人関係を改善するにはどうすれば良いのかについて考える。 |
| 50 | もうひとつの学校 | 31 | 一般 | 10～15歳くらいの子供達は、異年齢や異質集団、周囲の人たちからの影響を本能的に求めており、そこから社会性を吸収し、たくましさや思いやりの心を身につけていく。 |
| 53 | Pの不満Tの期待 | 30 | 一般 | 子供の幸せのためにと父母と教師は協力し合っているが、両者の意識の違いから問題が起こる。互いの信頼関係をどのように確立するかを考える。 |
| 71 | みんなわが子 | 28 | 一般 | わが子さえ良ければという母親のエゴから脱却して、よその子も、わが子と同じように育て、それぞれの良いところを伸ばしていくよう心がけたいものだと母親たちに訴えかける。 |
| 77 | のびゆく子ども会プログラムのつくり方 | 30 | 一般 | 子ども会を実際に運営していく上で、もつとも困ることのひとつがプログラムについてである。プログラムをどのように作っていけばよいか。その考え方を具体的な例で示す。 |
| 80 | 心を結ぶ家族キャンプ | 30 | 一般 | 家族や隣人との間で、ともしれば対話は欠けがちである。家族キャンプという機会ですべての家族や隣人との対話や愛情が回復していく姿をキャンプマナーや自然愛護を織り込みながら描いた。 |
| 94 | となりの立場家の立場 | 29 | 一般 | 近隣関係を良好に維持する中で、特に問題になりやすいのが、騒音問題である。その点に手がかりを求めて、近隣関係改善の糸口として、仲良くしていくための問題点をとり上げる。 |
| 100 | 集会を楽しくレクリエーションの活用 | 30 | 一般 | 人の集まりを楽しく、仲間作りを深めるために大きな役割を果たしているのがレクリエーション活動である。笑顔いっぱい集会を通して、レクリエーションの効用について理解を深め、基礎理論やコツについて分かりやすく解説する。 |
| 129 | 男女交際 | 17 | 中 | 中学生の時期、男女の人間関係がどのように発達するか、男女の人間関係においてどのような問題が生ずるのか、お互いにどうすればよいか等分かりやすく解説する。 |
| 167 | 夢かぎりなく | 31 | 一般 | 一人暮らしのお年寄り、風の共同制作をし社会や人間を見る目を養っていく少年。二人の心温まる交流を描いて、わが子を人間的に成長させるためには、趣味や関心のあるものを通して社会経験をさせ、それを見守る包容力が必要なことを示す。 |
| 173 | 闘魂 | 47 | 小～一般 | ニチボウ貝塚バレーチーム、ニチボウ平野バスケットチームの練習や、試合の記録をたどり、目標達成のため、チームの総力を結集し、あらゆる苦難を克服して栄冠を勝ち取るまでの姿を追う。 |
| 188 | バス停の座布団 | 31 | 中～一般 | 寒い朝、小さいバス停に誰かが作って置いた3枚の座布団。そのささやかな善意が、世代をこえ、理屈をこえて人々の心に受け継がれ守られていく。人々の善意や心のふれあいなど人間模様を描く。 |
| 189 | ぬくもり | 32 | 一般 | 数人に囲まれて暴力を加えられていた少年がたまたま通りかかった大人からかけられた励ましの言葉。その一言は少年の胸の中を激しい電流のように駆け巡った。一体何がそうさせ、そんなに感動したのかを考える。 |
| 191 | 僕は負けない | 31 | 小・中高 | いつもいじめられている気の弱い少年が、土曜日だけのおもちゃ図書館を知り、小さい子供達を相手におもちゃ作りを手伝っていく中で、次第にたくましく成長していく様子を描く。 |
| 193 | 微笑み | 34 | 中～一般 | 非行少女が、一人の女性と知り合い、限りない愛情と信頼に触れながら、次第に本来の姿を取り戻していく様子を描き、今日の社会に不足しているものは何かを訴える。 |
| 195 | エチオピアから天使がやってきた | 35 | 小～一般 | 物を大切にすることを信念とする老人、エチオピアから来た女子留学生、そして老人の家族との関わりあいを描き、物を大切にすることや他人への思いやり、生きることの喜びを発見する。 |

16ミリフィルム

| | | | | |
|-----|--------------|----|-----|--|
| 199 | あふれるころ | 33 | 一般 | ふとした動機から一人暮らしの老人を知った主婦が、近所的主婦と共に弁当作りなど老人の世話をしていくうちに、次第にその輪が広がり、地域全体の問題として取り上げられていく様子を描く。 |
| 200 | しあわせ配達人 | 31 | 一般 | 買ったばかりの竹馬をなくした少女、少女の悲しみを知り手製の竹馬を贈った老人たち、そして、竹馬の乗り方を教えた若い女性の、三者がおりなす温かい愛の交流を微笑ましく捉えている。 |
| 214 | 親たちみんなの子どもたち | 35 | 一般 | 郊外パトロールや、町の清掃活動、親子フットボール大会など、地域PTA活動の一環として努力し、地域のコミュニケーションを深めていった様子のあるPTA活動の事例をもとに描く。 |
| 229 | ゲートボールの青春 | 29 | 高齢者 | ゲートボールを通してお年寄りが、妻や家族、地域の人々と繰り広げる悲喜劇を明るくコミカルに描いた。 |
| 232 | おかあさんの白い杖 | 32 | 一般 | 目の不自由な母の杖がわりの幼児が、悲惨な事故で亡くなった。家族は生の声で深い悲しみを訴えている。同時に社会連帯感の必要性と、人々の善意の多さを実証している。 |
| 269 | 他人の子を叱る | 29 | 一般 | 「他人の子を叱る」には、大変な勇気がいる。相手は叱られたことがない子供達であり、叱ることを忘れた大人達だからだ。失われつつある地域社会の教育能力の回復を願って、他人の子供を叱る意味の留意点を描く。 |

保育・幼児教育

| | | | | |
|-----|---------------------|----|------|--|
| 28 | 悪くなったというけれど | 19 | 一般 | 3才頃までの幼児の自我の成長と芽生えはどこに、どんな形であらわれ、どのように育まれていくのか、幼児の行動を観察しながら、心の成長をたどる。 |
| 32 | はじめての赤ちゃん | 20 | 高一般 | 今生まれたばかりの赤ちゃん!全てを母親の手に委ねられている。それだけに母親の責任は重大だ。この新しい生命をどう扱えばいいのか、戸惑っているのではありませんか? |
| 48 | 豊かなころを | 18 | 一般 | 「自我の目覚めとお母さん」0歳から3歳にかけての幼児の心身の成長発達の過程を客観的に描きながら、3歳児の特徴を明らかにする。 |
| 69 | 幼児の遊び 今と昔 | 20 | 小～一般 | かつての伝承遊びと現在の遊びを対比させながら、今日失われつつある遊びの本質を探り出し、これからの遊びのあり方を考える。 |
| 154 | 育ちざかりにそなえて | 26 | 一般 | 幼少時では遊びが生活の中心となるが、遊びが子供達の体力作りに大きな影響力を持つ。幼少時の子供達の体力を培うにはどのような育て方をしたらよいか、そのためにはどのような配慮が必要なのか等について描く。 |
| 163 | ほめて育てる | 29 | 一般 | 一つ叱って、三つ誉めよと言われているように、子供にやる気と自信を持たせるには、正しく誉め、正しく叱ることと表裏一体であり、しつけの基本でもある。誉めることが子供の心に与える影響を探る。 |
| 164 | ぼくできるのに | 31 | 一般 | 子供の成長過程において、親の過干渉や過保護が、自立心・自主性のない性格を作り出すと共に、それが青年期においても強い影響を与えることをドラマ構成で描く。 |
| 178 | 子育てのころ | 32 | 一般 | 子育ての基本として、まず自立を育て家庭や学校、社会の一員としての立場、それに伴う役割を果たすことの大切さに気づかせ、己の欲望を制御する力を養い、思いやりのある心豊かな人間として育てることの必要性を訴える。 |
| 180 | ゆとり | 31 | 一般 | 人を思いやる心、町を思う心、人と人とが触れ合う中で育まれるやさしさ…。そうした心の在り方を教えることが親の務めであること、家庭や地域社会の中でゆとりを取り戻す大切さを訴える。 |
| 253 | もうすぐ一年生 新入学にそなえて | 24 | 一般 | 親は子供が入学する前に読み書き、計算ができるようにしておけば良い、と考えがちだ。それは学校で教えられる。家庭生活で大切なのは、基本的な生活習慣のしつけ、友達と仲良く遊べることだ。いかにすれば学校生活になじめるか具体的に示す。 |

生涯学習

| | | | | |
|-----|----------------------|----|----|--|
| 68 | 婦人のライフサイクルと 学習課題 | 20 | 一般 | 婦人のライフサイクルとは何か。今日、何故ライフサイクルに基づいた人生の設計が必要なのか、という問題を考えてもらうために、婦人のライフサイクルの変化や生涯の学習課題等について解説する。 |
| 255 | 新しい自分との出会い —生涯学習— | 34 | 一般 | 興味や生きがいにつながるもの、実務や学業に役立つもの、など生涯を通じて楽しめ、情熱を傾けられる何かが見出せた人は心豊かで幸せである。生涯学習とは何か、様々な事例を通して、その意義や取り組み方を考える。 |

消費者問題

| | | | | |
|-----|--------------------|----|-----------|--|
| 196 | お年寄りを狙う悪徳商法 | 26 | 一般 高齢者 | 温泉招待旅行や健康食品の売込みなど、急増する悪徳商法の手口や、その被害について捉え、被害防止の方法を、事例とともに説明する。 |
| 216 | あなたを狙うだましの テクニク | 26 | 一般 | 悪質な訪問販売をはじめ、その他の悪徳商法に見られる手口と被害事例により、それらの被害を防ぐための心得について解説する。 |

平和教育

| | | | | |
|-----|-------------|----|------|--|
| 224 | お母さんの声がきこえる | 31 | 小～一般 | 昭和20年3月の大空襲で、子供や親兄弟を失うなど悲惨な体験を味わった人たちの当時の状況をとらえた資料や、残された遺物をもとに、戦争の持つ悲しさを訴え、平和を守ることの大切さについて深く考えさせられる。 |
|-----|-------------|----|------|--|

16ミリフィルム

郷土(山口県)

| | | | | |
|-----|----------------------|----|-----------|---|
| 37 | 塩とともに | 20 | 一般 | 三田尻塩田の製塩業の実態を記録したもの。 |
| 38 | 入浜塩田作業 | 10 | 一般 | 製塩業の実態を記録したもの。(無声) |
| 78 | 明治維新への歩み (山口県の歴史) | 24 | 中～ 一般 | 県下から多数の資料を集め、長州藩が明治維新の原動力となったのはなぜかを総括的に考えさせることによって、郷土への関心と愛着を深めさせる。 |
| 174 | 萩往還 | 20 | 小・中 一般 | 江戸時代、萩に城を構えた毛利氏は、藩の体制を固めるために道路網を整備した。中でも萩～三田尻間は萩往還と呼ばれ、参勤交代や巡視経路として重視された。萩往還を通して、当時の人々の生活や交通の様子を紹介する。 |
| 198 | 萩焼 | 20 | 小～ 一般 | 萩焼の起こりから代々受け継がれてきたその制作工程に視点を置き、郷土で培われた伝統工芸品を分かりやすく紹介し、山口県の伝統産業について理解と関心を深める。 |
| 211 | 赤間硯 | 20 | 中～ 一般 | 赤間硯は硯師たちが心をこめて、良質の石材に手の込んだ細工をしてつくる美しい硯で、使いやすい硯として多くの人々に愛用されてきた。赤間硯の歴史的背景とその技法について描き、工芸品について関心を深める。 |
| 233 | 秋吉台 カルスト台地のふしぎ | 20 | 一般 | 秋吉台ができるまでの過程や石灰岩台地特有の様々な地形を紹介し、郷土の自然について理解と関心を深めさせる。 |
| 241 | 秋吉台 台地の人々の暮らし | 21 | 中～ 一般 | 人は、大昔から現在まで秋吉台と深く関わってきた。秋吉台の地形風土を生かした農業、工業、観光から、郷土の理解を深めさせる。 |
| 257 | ふぐ | 23 | 一般 | 山口県の魚といわれるように、古くから山口県と深いつながりを持っているふぐ。近年、その漁獲量は減少している。ふぐの漁法や流通を紹介し、ふぐを増やそうと努力する人々の姿を描く。 |
| 268 | 北浦の海に生きる | 23 | 小・中 一般 | 山口県の西北部、日本海側を北浦という。この地域は豊かな漁場に恵まれ、漁業が盛んに行われているが、後継者不足など多くの問題も抱えている。海と共にたくましく生きる人々の姿を描く。 |

教育研修

| | | | | |
|----|------------------------|----|---------|--|
| 1 | 新しいエチケット | 26 | 一般 | 相手の気持ちを尊重し思いやることこそエチケットの第一歩。そのエチケットのあり方を分かりやすく軽いタッチで描いた。 |
| 67 | あなたの笑顔が会社の笑顔 職場での対応 | 26 | 高 一般 | 対応の基本は何か。電話や来客の時の対応の仕方について具体的に研修し、教養として身につけようとするもの。 |

その他

| | | | | |
|-----|--------------|----|----------|--|
| 8 | 雪の行路 | 22 | 一般 | 日本の鉄道に燦然と輝き、今消えようとするC62の息吹を北海道の雪景色とともに永遠にとどめるドキュメンタリー。 |
| 14 | 長い航跡 人と海と船 | 32 | 中～ 一般 | 船の歴史は人類のたどってきたドラマチックな歴史でもある。古代エジプトから始まる約6000年の船の歴史を歴史上の各ポイントを押さえながら、描き出し、数々の貴重なシーンを収録している。 |
| 15 | 記録 岡山国体への準備 | 20 | 一般 | 友情・秩序・奉仕をスローガンとした明るい県民運動の進め方を描く。 |
| 16 | 記録 山口国体「栄光」 | 40 | 一般 | 第18回国民体育大会の記録。 |
| 168 | 16ミリフィルムと映写機 | 21 | 一般 | 16ミリ映写機を正しく操作するため、専門家の意見と協力の下に、製作者の体験も取り入れて、フィルムの破損防止のために作られたもの。 |
| 217 | 相続と遺言 | 30 | 一般 | 遺産相続にかかわる基本的な法律事項や、遺言のもつ意義、自筆証書遺言、公正証書遺言など、遺言の書き方や手続きの方法について具体的に解説する。 |

16ミリフィルム（アニメーション）

| 番号 | 題名 | 時間(分) | 対象 | 内容 |
|----|--------------|-------|-----|--|
| 1 | おじぞうさまのきず | 11 | 幼・小 | どうしてお地藏様に傷があるのかという設定から、子供達の心に優しさ、いたわりと、それに嘘をついてはいけないということを教える。 |
| 2 | そばかす太郎 | 11 | 幼・小 | この物語は、幸福になったその後の生活態度や心の持ち方が問題とされているのが特徴である。授かった幸せの上にあぐらをかかず、その後も以前と変わらず勤勉に誠実に生きていくことの大切さを教えている。 |
| 3 | おろちの塔 | 10 | 幼・小 | おろちの池のほとりに建てられたおろちの塔のいわれを通して、働き者の大工・五郎と娘おなみの愛情物語をつづった、美しい物語。 |
| 4 | いなかねずみとまちねずみ | 9 | 幼 | 都市に憧れた田舎ねずみが、町に出て、多くの危険な出来事に遭い、「町って怖い」と感じて、やはり住み慣れた田舎に戻ってくるというお話。 |
| 5 | シュッポと公安 | 18 | 小 | ふとした縁でシュッポ少年は、憧れのひかり号の運転室に乗り込んで京都に行くことになる。その旅行物語の中で、線路への飛び出しや、投石など、子供達の何気ない行動やいたずらが不幸な大事故に結びつくことを考えていく。 |
| 6 | ワン君の消防士 | 10 | 幼・小 | 子供達に道徳心と優しい心をわからせる。ワン君が町の中のあちらこちらで防火の手助けをし、最後には消防士と一緒に消火活動も行う。 |
| 7 | 桃っこ太郎 | 17 | 幼・小 | 幼い頃から耳にしてきたおとぎ話の桃太郎。勇ましく、英雄的な桃太郎をもう一度民話の原点にもどし、婚姻譚の原型に立ち返った桃っこ太郎は、素朴な勇気と愛を持ち、土の香りのする民話の主人公として活躍する。 |
| 8 | したきりすずめ | 18 | 幼・小 | 石川県江沼郡伝承されている民話を脚色したもので、人とすずめの織り成す昔話の味わいを明るく朗らかにうたいあげている。 |
| 9 | かぐや姫 | 11 | 幼・小 | 竹やぶの不思議な光をはなつ竹から生まれた女の子。だんだん成長して美しい姫になると、八月の十五夜満月の夜、月からの使者が迎えに来て、嘆き悲しむおじいさん、おばあさんをあとに月世界に帰って行く。 |
| 10 | カチカチ山 | 11 | 幼・小 | 山の悪たれタヌキをこらしめるためにウサギは知恵をしぼる。やけどをさせて唐辛子をぬり、最後にタヌキを泥船に乗せて、川に沈めてしまう。 |
| 11 | 花咲かじいさん | 11 | 幼・小 | 助けた仔犬が「ここ掘れワンワン」となくところを掘ると、大判小判がザクザク。人の良いおじいさん、おばあさんの家には幸せいっぱい。ところが欲深なとなりのおじいさんが、いやがる犬をむりやり連れて行き、犬のなく所を掘って見たら…。 |
| 12 | 鶴の恩返し | 11 | 幼・小 | 心やさしい青年が、山でわなにかかっていた鶴を助けた。ある日青年の家に美しい娘がやって来て、美しい反物を織り上げた。その反物を売ったお金で青年は裕福になってきた。ところが「織る姿を見ないで下さい」と娘に言われていたのに、青年はこっそりのぞいてしまう。 |
| 13 | わらしべ長者 | 11 | 幼・小 | 「おまえがこのお堂を出て、最初につかんだものを大切にしなさい」観音様のお告げにしたがった青年が最初につかんだものは一本のわらだった。それでもお告げの通りにすると…。 |
| 14 | さるかに合戦 | 11 | 幼・小 | かにをだましてまんまと美味しい柿をひとりじめにした悪がしこいサルをこらしめるため、白と栗と蜂が応援する。そうとも知らずに鼻歌まじりに帰ってきたサルは…。 |
| 15 | こぶとりじいさん | 11 | 幼・小 | うかれて踊っているうちに、鬼にこぶをとってもらったお爺さんの話を聞いて、となりのおじいさんは自分もとってもらおうと鬼の宴会に出かける。ところが下手な踊りを踊ったばかりに…。 |
| 16 | 笠地藏 | 11 | 幼・小 | 雪が降る山道で、ぽつんと立っているお地藏さんに、寒かろうと笠をかぶせてあげた心やさしいおじいさん。明日は正月だというのに餅も食べられないほど貧しいのに…。さてその夜、お爺さんの家の前には…。 |
| 17 | 三年寝太郎 | 11 | 幼・小 | 一年中寝てばかりいる不思議な若者、もう寝つづけて三年経ち、村の人は怠け者と罵っていたが、本当は村のことを一番考えていたのだ。ある日立ち上がった青年は、千足のわらじがほしいと言い出す。 |
| 18 | 一休さん | 11 | 幼・小 | 寺の和尚や、小間物屋の太平さんとんちでやりこめる一休さん。その噂は都まで広がり、とうとう將軍様とんち問答をすることになってしまう。 |
| 19 | ジャックと豆の木 | 16 | 幼・小 | 大切な牛と交換した魔法の豆は、一晩のうちにつるが天までのびた。雲の上には人食い巨人の城があった。 |
| 20 | 119ちゃん | 16 | 幼・小 | 火や煙の恐ろしさ。火の必要性と正しい使い方を理解し、火に対する注意を一層深めることを願って作られた火災予防アニメ。 |
| 21 | 花咲山 | 18 | 幼・小 | つらいのを辛抱して自分のことよりも人のことを思う時、その優しさと健気さが花になって咲く。 |
| 22 | やまたのおろち | 10 | 幼・小 | 天から追放されて出雲の国にやって来た、すさのおのみことが、村人のためにやまたのおろちを退治する、日本民話。 |
| 23 | いたずらねこと掃除機 | 10 | 幼・小 | 三角ぼうしの小人と老人が、掃除機をめぐる大騒ぎ。ゆかいな物語。 |
| 24 | 七匹の子やぎ | 10 | 幼・小 | 母さんやぎは7匹のこやぎを残して買い物に行かなければならない。オオカミには充分注意するように、と言いつつ聞かせてはいたが、ずるがしこいオオカミはあの手この手で子やぎをだましてしまう。 |
| 25 | マッチ売りの少女 | 10 | 幼・小 | 薄幸なマッチ売りの少女がたどった悲しくも美しい物語。命をかけて燃やしたマッチの火に神様が。 |

16ミリフィルム（アニメーション）

| | | | | |
|----|---------------|----|-----|--|
| 26 | 一寸法師 | 10 | 幼・小 | 大きな望みをもつ一寸法師は、京に上って大臣の家に仕えた。ある日お姫様と花見に行った時、突然お姫様が竜巻に巻き込まれてしまい、気が付くと眼の前には鬼が…。 |
| 27 | ヘンゼルとグレーテル | 10 | 幼・小 | 森に貧しいきこりが住んでいた。きこりの二人の子供ヘンゼルとグレーテルが、深い森の中で迷子になってしまう。帰り道がわからなくなった二人はお菓子の家にたどりついた。ところがそこは恐ろしい魔女の家だったのだ。 |
| 28 | アリババと40人の盗賊 | 12 | 幼・小 | アリババがふとしたことで知った40人の盗賊の隠れ家から盗み出した宝で、家を建てたと知った兄のカシムは、召使のモルギアナと交換に、隠れ家を教えて貰う。 |
| 29 | ありときりぎりす | 15 | 幼・小 | 一生懸命食べ物運びのアリを見て笑っていたキリギリスが、冬になって自分の食べ物なくなり、過去の態度を反省するというお話。 |
| 30 | アンデルセン | 11 | 幼・小 | 貧しい靴直しの子のアンデルセンは幼い頃父親を失った。孤独な心を色々なお話を空想することにより、癒していたアンデルセンは、辛い生活体験を材料に子供達の夢と希望を育む150余編の名作童話を書き上げた。 |
| 31 | おむすびころりん | 10 | 幼・小 | おむすびを落とした働き者のおじいさんは、ねずみの国の穴に入り、宝を貰って帰る。その話を聞いたとなりの欲張りじいさんは、お宝をよくばってねずみを騙したので、穴から出られなくなってしまった。 |
| 32 | おとし穴 | 15 | 幼・小 | 魔法使いが美しい娘マリアをさらい、塔に閉じ込めてしまった。塔の周りには逃げられないよう落とし穴が作られている。若い旅人ハンスが、森の精や鶴や小鳥たちの助けを借りて、マリアを無事に助け出す話。 |
| 33 | ペープ・ルース | 11 | 幼・小 | ラジオを聞いた小児マヒのジョニーが、思わず立ち上がって喜んだ。試合前世紀の本塁打王からサインボールを貰い、しかも約束の大ホームランをかつ飛ばしてくれたのだ。1926年のワールドシリーズでの有名な物語。 |
| 34 | 福沢諭吉 | 11 | 幼・小 | 貧乏武士の家に生まれた諭吉は、14歳になるまで勉強が大嫌いだった。母は勉強を一度も強要せず、黙々と人間的な心を教えていた。こうして彼の信念を作り上げていった。 |
| 35 | 三蔵法師 | 11 | 幼・小 | 13歳で僧侶になった玄奘は天竺にお釈迦様を訪ねて教えを乞おうと、危険を覚悟でやせ馬に乗り、旅立った。 |
| 36 | 二宮金次郎 | 22 | 幼・小 | 人のため、村のために役立ちたいという情熱が、土手に松を植えるという工夫を生み出した。実践の人、金次郎の人となり形成した少年時代の感動的な物語。 |
| 37 | 良寛 | 11 | 幼・小 | 良寛様は学識の高い名僧でありながら、少しも偉ぶらない人物で、里人や子供達から慕われていた。ひねくれ者の権三は散々いたずらをするが、あくまで人を疑わぬ良寛様に心打たれ、さすがの権三も改心していく。 |
| 38 | アヒルのフットボール | 9 | 幼・小 | トランペットの上手なアヒルの少年は運動が得意ではなく、少年フットボールチームの仲間たちからばかりにされていた。ところがある日、ゲームで負けそうだと聞いて応援に駆けつけたアヒルの少年の見事なトランペット演奏に感動して、フットボールチームは奮闘するのであった。 |
| 39 | 長太とむじな | 11 | 幼・小 | 働き者の長太を驚かそうと2匹のむじなが、化け合戦。大坊主に化けたり娘に化けたりしてなんとか長太をだまそうとするが、長太は臆することなくなたを持って立ち向かい、むじなたちをやっつけてしまう。 |
| 40 | アラジンと魔法のランプ | 10 | 幼・小 | アラジンがランプをこすると、ランプの精が現れて、何でも願いをかなえてくれる。そのおかげでアラジンは大金持ちになり、お姫様と結婚できることになるが、悪い魔法使いにランプを奪われてしまって、さあ、大変。 |
| 41 | みにくいあひるの子 | 10 | 幼・小 | 1匹だけ灰色だったために、仲間はずれにされたアヒルの子は、美しい白鳥の姿に魅せられて旅に出る。その旅の中で色々な鳥と出会い、世の中の様々な喜びや悲しみをして、成長していく。 |
| 42 | ドナルド・ダックの防火訓練 | 12 | 幼・小 | 火事だ!家や学校で火事があった時、どうすればよいのか?日頃の心構えと防火計画、防火訓練、避難方法など、ドナルド・ダックが楽しく教えてくれる。 |
| 43 | 動物村のなかよし作戦 | 10 | 幼・小 | 森の中で一番強いのは俺だ!森のものは全て俺のものだ!と言い出した欲張りオオカミと子分の子ギツネ。森はみんなのためにあるのだと主張するウサギヤリス、ハリネズミにカエル達、彼らが繰り広げる楽しい物語。 |
| 44 | サッカーマジックチーム | 18 | 幼・小 | サッカーの魅力に取り付かれたコザックチームが、持ち前のチームワークと猛練習で培った魔法のような素晴らしいテクニックで、楽しませてくれる。 |
| 45 | 海賊島の大冒険 | 17 | 幼・小 | ジャマイカ島にやって来た、老船長と小犬と二人の少年は、海賊に捕まってしまった。折から起こった大地震にまぎれて、海賊の手から脱出した老船長たちが、イルカやカメなど海の仲間の手を借りて海賊を全滅させる冒険物語。 |
| 46 | 小川よ走れ | 20 | 幼・小 | 名曲「春の小川」に乗って、さらさら流れ出した雪解け水に森の動物たちは大喜び。でも欲深なカエルが水の流れを他にやるまいとせき止めたので大騒ぎ。 |
| 47 | 源太の笛 | 10 | 幼・小 | お祭で笛を買うことのできない源太は、竹を切って作ることにした。その笛はたいそう音色が良いので、動物たちも踊りだすほどだった。ある日殿様が聞きほれて、お城で笛を吹くように命じられる。 |
| 48 | とびだすな!!パンダちゃん | 14 | 幼・小 | 飛び出しによる交通事故の恐ろしさや、横断歩道、交差点での正しい渡り方について描く。 |
| 49 | 鶴の笛 | 11 | 幼・小 | 足を怪我した鶴が、仲間から置いてけぼりにされてしまうが、やさしい心をもっていたので、みんながまた慕って戻ってくるというお話。 |

16ミリフィルム（アニメーション）

| | | | | |
|----|-----------------------|----|-----|--|
| 50 | 愛犬カヤ | 11 | 幼・小 | 弱虫でどうしようもない犬が、本当はとても勇気のある賢い犬であった。見かけだけで判断してはいけないという教訓を残す作品。 |
| 51 | ミッキー・マウスとプルトのクリスマスツリー | 7 | 幼・小 | ミッキーとプルトは森からクリスマスツリーを切ってきて、美しい飾りつけをしたが、その木にはシマリスが住んでいたのだから、大変！最後にはみんなで仲良くクリスマスを祝う。 |
| 52 | ごんぎつね | 21 | 小 | 村に来てはいたずらばかりしているごんぎつねは、ある日兵十にいたずらをして悲しい思いをさせた。後悔したごんは兵十に尽くすが、誤解はとけず火縄銃で打たれてしまった。 |
| 53 | きつねの窓 | 11 | 幼・小 | お花畑の中の染物屋さんで、指に藍色を塗って空にかざすと懐かしい人の姿が浮ぶという幻想的な物語。 |
| 54 | ひつじのようなライオン | 8 | 幼・小 | 羊のお母さんの温かい愛情に育まれてすくすくと育った、身体は大きいけれど気がやさしくて臆病なライオン。ある晩、お母さん羊がオオカミに食べられそうになる。羊とライオンの愛情物語。 |
| 55 | 月の輪熊 | 11 | 幼・小 | 子ぐまを生け捕るためにじりじり近づく。突然滝の上で激しく吼える声が出た。母ぐまが小ぐまの危険を感じて見守っているのだ。すると突然身を翻して滝つぼに飛び込んだ。そして母ぐまは…。 |
| 56 | 金色の足あと | 11 | 幼・小 | 山で捕らえられ、正太郎君の家で飼われることになった子狐は、餌を口にしない。子を想う一心から床下に巣まで作って乳を飲ませる親狐の子に対する愛情に、正太郎君は心打たれる。 |
| 57 | 手品師 | 15 | 小 | 母の死も知らずに帰りを待ちわびる少年の身の上を知った青年手品師は、宿願の絵舞台へのチャンスに恵まれたにも関わらず、少年との約束を守るため、より人間的な道を選ぶ。 |
| 58 | みじかくなったえんぴつくん | 10 | 幼・小 | 筆箱から出たえんぴつ君と消しゴム君は、書いたり消したりして仲良く遊んでいる。鳴く事のできない鳥の口や動くことのできない船を協力して直してあげる。ところが自動車をどちらの方向に走らせるかで意見が分かれ、けんかになってしまった。 |
| 59 | おば捨て山の月 | 21 | 幼・小 | 昔、お年寄りが大嫌いな殿様がいて、70歳を過ぎた老人を島流しにしていた。そのため与作も母親と別れなければならなくなった。そこで与作は一計を案じるが…。 |
| 60 | 五つのはなのえき | 10 | 幼・小 | 町から山奥までの五つの駅は、人の乗り降りがなくいつも寂しそうだった。ある日小さな女の子が、ダリアの花を持ってきた。そして、駅を花でいっぱいにするのを思いついたのだ。それから五つの駅は…。 |
| 61 | 泣いた赤おに | 15 | 幼・小 | ある山に赤鬼が住んでいた。赤鬼は人間たちと仲良くなりたいのだが、村人たちは怖がって逃げてしまう。それを聞いた青鬼は村人たちと赤鬼が仲良くできるひとつの作戦を思いついた。それは…。 |
| 62 | 三日月とタヌキ | 26 | 幼・小 | 人間に育てられ、火を恐れなくなったタヌキの物語で、動物親子の心のふれあいの尊さ、美しさを描いた。 |
| 63 | 片耳の大シカ | 25 | 幼・小 | 寒い冬の日、片耳の大シカを追っていた猟師たちは、激しい風と雨に遭い凍死寸前の時、片耳のいる洞穴を見つけて入り込んだ。そこにはたくさんの動物たちが仲良く身を寄せ合っていた。 |
| 64 | ドナルド・ダックと貯金箱 | 10 | 幼・小 | ドナルド・ダックが家族の貯金箱を盗んでデートに使ってしまうが、一生懸命働いてお金を返すというユーモラスなお話。 |
| 65 | グーフィー正しいルールを守ろう | 10 | 幼・小 | グーフィーを主人公にして、幼い子供達に世の中の守らなければならないルールの大切さを教え、ルールを守ろうとする感覚を養う。 |
| 66 | 山の小僧 | 11 | 幼・小 | 暴れん坊の金太郎の、ほのぼのとした友情を描いた、情操教育にふさわしい作品。 |
| 67 | 豆象武勇伝 | 15 | 幼・小 | 森一番のチビッコ象ゴライアス二世が、大敵ネズミをやっつけ、英雄となった愉快な楽しい物語。 |
| 68 | ウサギとカメ | 12 | 幼・小 | スピード狂のウサギとカメのマラソン大会。ウサギは途中で一休み、カメはのろのろだが休まず一生懸命にゴールに向かった。ロケットのようなウサギは努力したカメには勝てなかった。 |
| 69 | カミナリ坊やピカッ太君の交通安全 | 15 | 幼 | 空から降ってきたカミナリ坊やが交通ルールを知らずに色々危険な目にあい、交通ルールを守る大切さを知る。 |
| 70 | 鬼太のぼうし | 18 | 幼・小 | まこと君の家の物置小屋の天井には鬼太という気のいい小さな黒鬼の子供が住み始めた。鬼太は人間の迷惑にならないようにひっそりと暮らしていた。 |
| 71 | 腹ぺこ童子 | 20 | 幼・小 | 飽食の時代に生きる子供達に、物の大切さを教え、欲しい物を手に入れるためには自分で精一杯努力し、苦労をしなければいけないことを教える。 |
| 72 | ハチ公物語 | 18 | 幼・小 | 渋谷の駅前で主人の帰りを待ち続けたハチ公の話を映画化したもので、飼い主である上野さん一家や近所の子どもたちの友情を描く。 |
| 73 | たなばたさま | 11 | 幼・小 | 昔中国に牽牛という若者がいた。ある時牽牛の笛の音に誘われて織女という天女が舞い下りた。二人は心を寄せ合い結婚するが、天界の掟で織女は天に連れ戻されてしまう。 |
| 74 | チョコタン ぼくのおよめさん | 12 | 幼・小 | 音と映像が一体になって劇的感動を誘う映画。ひとりの子供の素朴な体験を描いて、交通事故に対する子供の気持ちを切実に訴えている。 |
| 75 | のっぺらぼう | 15 | 幼・小 | 大工の正八が仕事を終えての帰り道、空には不気味な赤い月が出ていた。お堀のそばの柳の下に、白い女の人の影がゆれていた。ドキッと怖いお化けの話。 |

16ミリフィルム（アニメーション）

| | | | | |
|-----|--------------------|----|------------|---|
| 76 | クリスマスクリスマス | 25 | 幼・小 | 美しい夜空に向かって流星のように八頭立てのトナカイのそりが走る。世界中の子供達にサンタクロースからの愛のプレゼント。夢とロマンの素晴らしいメルヘンの世界に招待する。 |
| 77 | 稲むらの火 | 16 | 幼・小 | 激しい地震に襲われ、大きな津波を予感した五兵衛は、村人たちにその危険を知らせるため、大切な稲むらに火をつける。 |
| 78 | きつねのかんちがい | 28 | 小 一般 | 同和教育読本「にんげん」小学校2年生の教材「きつねのかんちがい」をもとに作った、豊かな温かい心を描いた。 |
| 79 | きんたろう | 12 | 幼・小 | 気はやさしくて力持ち、足柄山のきんたろうのお話。 |
| 80 | ミッキー Mausのお化け退治 | 9 | 幼・小 | 「お化けを退治します」の広告を見たお化け屋敷のお化けにされ、散々な目にあったミッキーの様子を描く。 |
| 81 | ぶんぶく茶釜 | 12 | 幼・小 | 茶釜に化けたタヌキが活躍する愉快なお話。 |
| 82 | 潜水艦に恋したクジラの話 | 15 | 幼・小 | 一頭のクジラの運命を一転させた戦争の愚かさや残酷さ、そして愛の大切さを深く語りかける。 |
| 83 | ペロ出しチョンマ | 15 | 幼・小 | 同和教育教材「いのち」の中の作品。身分の低い人々への権力支配の問題から、子供達に差別の不当性、人間尊重の心が培ってくれることを願う。 |
| 84 | いじめに負けるな | 17 | 幼・小 | 「いじめ」による悲しいニュースが相次いでいる今日、ひとりの女性プロレスラーの生き方を書いて、人生を放棄したりせず生きていくことの大切さ、尊さを訴える。自分に勝つ戦いを知って欲しい。 |
| 85 | ひぐまのおんがえし | 10 | 幼・小 | 子供達に交通安全の基本的なお話をしつづけるのではなく、興味を持たせながら教えるための教材。交通ルールの必要性、ルールを守ることの大切さに気づかせる。 |
| 86 | 神様がくれた クリスマスツリー | 12 | 幼・小 | クリスマスはイエス・キリストのお誕生日。真心の美しさ、善意の尊さ。クリスマスにまつわる心温まる物語。 |
| 87 | ナイチンゲール物語 | 20 | 幼・小 | 「看護婦の母」とよばれているフローレンス・ナイチンゲールの生涯の前半期をアニメ化した。看護組織の確立、人類愛の素晴らしさを知ることができる。 |
| 88 | ミッキー Mausとプルート | 10 | 幼 | ミッキーがいつも可愛がっている子猫ちゃんが、深い井戸に落ちたので…さあ大変だ!プルートは日頃のうらみも忘れて、勇敢に助ける。 |
| 89 | ナンちゃんの交通安全 | 11 | 幼 小(低) | 子供達の日常で最も発生しやすい飛び出し事故。その危険性や悲惨さについて、かわいい動物たちを通して飛び出し事故を中心とする交通ルールの大切さを描く。 |
| 90 | 小さなチャンピオン | 27 | 幼 小(低) | 友達の大切さ、ひとりよりも二人、二人よりも三人、ひとりひとりが助け合うことの大切さを描く。 |
| 91 | ばんじ休す | 6 | 幼 | 大きい魚に追われる小さい魚、知恵と勇気を描いた映画。奇抜なアイデアで描き出す。 |
| 92 | 三人のミュージシャン | 13 | 幼 小(低) | とても才能のあるミュージシャン。その中の一人がとんでもなく照れ屋なのが3人の悩み。この映画で友情の大切さが分かる。 |
| 93 | よいこのたのしいクリスマス | 25 | 幼 小(低) | クラシックの名曲に独自のイメージでアニメーションをつけた画期的なディズニー作品。もろびとこぞりて、ジングルベル、サンタクロースがやってくる、赤鼻のトナカイが挿入されている。 |
| 94 | サンタのおくりもの | 8 | 幼 小(低) | 子供達が眠っている間に、サンタクロースがこっそりやって来て、そっと靴下の中にプレゼントを入れていく。サンタの袋から人形たちが飛び出して大活躍。にぎやかにクリスマスツリーを飾り付ける。子供達は目を覚まし、贈り物を見つけて大喜び。 |
| 95 | 森のなかまたち | 24 | 幼 小(低) | 仲良しの小熊、小猿、小狸が、森の奥へ木の実を拾いに行く途中、狐とオオカミに出会った。狐にお弁当を取られそうになるが、オオカミが助けてくれた。その後、山火事が発生して…。 |
| 96 | よくばり小犬のワンちゃん | 24 | 幼 小(低) | 小犬が偶然見つけた骨付き肉を巡っていがみ合う小犬とボス犬の長い確執を描く。独り占めしたいという欲望を通し、「相手の身になって考える」「思いやりをもつ」大切さを訴える。 |
| 97 | ミラクル太郎の自転車安全教室 | 20 | 小 (中・高) | 自分が正しいと思っている乗り方が実は大変危険な場合がある。どこがどう違うのか。自転車の乗り手とドライバーの視界など映像特性を活用してリアルに再現する。 |
| 98 | ぶんぶくちやがま | 15 | 幼・小 | 村に一匹のいたずらタヌキがいて、村人は困っていた。そのタヌキが子供達に捕まりいじめられていたところ、お爺さんが通りがかり、助けてやった。タヌキはお爺さんの優しさ感激して、改心し、大活躍!お爺さんとタヌキはいつまでも仲良く暮らしたとき。 |
| 99 | とうきちとむじな | 18 | 幼・小 | 長野県秋山郷に伝わる民話を題材にした松谷みよ子の絵本。猟師の藤吉は一匹も獲物が取れずに家に帰って来た。獲物がとれなかったのは、きっとむじなに化かされたからだと思った藤吉は、次の日むじなの穴にわなを仕掛けるが…。 |
| 100 | 彦星と織姫 | 20 | 幼・小 | 牽牛星「わし座のアルタイル」織姫星「こと座のベガ」が年に一度、再会すると語り継がれた物語。 |

16ミリフィルム（アニメーション）

| | | | | |
|-----|-------------------|----|-----|--|
| 101 | 目立ちたがりやの猿 | 24 | 幼・小 | 青い森に住む猿のルナは、自分の身体が森と同じ色なのが不満で、赤い色に変えてしまう。2番目のキムも羨ましくなって色を変えるが、ある日森に黒豹がやって来て、色の違うルナとキムはすぐに見つかってしまう。兄のブンは仲間たちと豹に立ち向かい、森から追払った。 |
| 102 | 花ともぐら | 15 | 幼・小 | ハナコちゃんが描いた草花の世話をするもぐらの絵が秘密の研究所に舞い込んだ。研究所では苦心してロボットもぐらを作り上げる。 |
| 103 | ゆきちゃんのこんにちは | 19 | 幼・小 | ゆきはあまり口をきかない。何を言っても蚊の鳴くような声。それに笑顔を見せない。そのゆきが、雲の少年ジローと出会うことで心を開き、挨拶することがどんなに大切に気持ちのいいことか知る。 |
| 104 | 「ムーミン」スナフキンが帰ってきた | 25 | 幼・小 | ムーミンはホルンに挑戦しているうちにホルンを壊してしまう。持ち主のヘムレンさんは気にするなと言ってくれるが、ムーミンは新しいホルンを買って弁償しようと働き始めた。そんなムーミンを助けるように周囲では不思議なことが起こる。 |
| 105 | マリーベルの交通安全 | 14 | 幼・小 | マリーベルとその仲間たちが交通ルールを守らずに婦警さんにストップをかけられながら、交通ルールを学んでいく。やがて友人の危険を救い、幼児の飛び出し事故を防ぐまでに成長していく。 |
| 106 | 愛華ちゃんの地球 | 33 | 小 | 学校の宿題で愛華ちゃんは環境問題をマンガにまとめあげた。それが大反響を呼び、国連の「グローバル」賞まで受けることになった。本作品は遺作となった「地球の秘密」を彼女が作り出すまでの短い生涯を描いた感動のアニメ。 |
| 107 | どんぐりと山猫 | 20 | 幼・小 | 一郎のところに山猫から、面倒な裁判があるので来て欲しいというはがきが届く。一郎が山猫に会いに行くと、どんぐりたちが誰が一番偉いか決めて欲しいと裁判長の山猫に迫っているところだった。 |
| 108 | 小さなバイキングビッケ | 23 | 幼・小 | ビッケの村に毎年やってくる行商人ヤールから、南の火を噴く島には宝物があると聞き、バイキングたちは早速船で出かける。島全体が火山なので、溶岩をさけて森へ向かう途中、ビッケは深い穴に落ちてしまった。 |
| 109 | ピーターと狼 | 14 | 幼・小 | この作品は、まず登場人物の紹介と、そのテーマを受け持つオーケストラの楽器の紹介から始まり、プロコフィエフが作曲した原曲のイメージをウォルト・ディズニーは動画で見事に表現した。 |
| 110 | トムとジョンのボクシング教室 | 10 | 幼・小 | 大きなブルドッグにいじめられているノラを助けたトムとジョン。安全な場所に来るとノラはから威張りをし始めた。 |
| 111 | はれときどきブタの交通安全 | 15 | 幼・小 | 「はれブタ」シリーズの則安君と妹の玉ちゃん。その仲間にも登場してもらい、交通指導員となったブタちゃんや婦警さんが活躍する面白い物語を通して、交通ルールの大切さを教える。 |
| 112 | ダルマちゃんとはてんぐちゃん | 23 | 幼・小 | ある春の日、桜が満開の境内で、ダルマちゃんとはてんぐの少年「はてんぐちゃん」と出会う。ダルマちゃんとはてんぐちゃんのゲタや長い鼻などの奇妙な格好が不思議でたまらない。家族を巻き込んでの大真似ごっこが始まった。 |
| 113 | 注文の多い料理店 | 23 | 幼・小 | 宮沢賢治の生誕100周年を記念して制作されたこの作品は、仲の良い都会の紳士が山道で迷ってしまい、西洋料理店の「山猫軒」に入ってしまうことから始まる。 |
| 114 | ふしぎな風の子 | 30 | 幼・小 | ぜんそく持ちの病弱な少年がたくましく大変身し、風の国のいたずらっ子風太、ガキ大将、憧れの少女を巻き込んで大活躍する。 |
| 115 | モジャ公「宇宙からきたともだち」 | 23 | 幼・小 | ちょっと変で可愛い宇宙人モジャ公と空夫一家との楽しい物語。内容は、宇宙から来た友達、コスモストーンを探せ、ドロボーの星ドロボー、ピテカンは何スパー？など。 |
| 116 | 瓜っ子姫とアマンジャク | 19 | 幼・小 | 瓜から生まれた瓜っ子姫とおじいさん、おばあさん、森の動物たちが力を合わせてアマンジャクのいたずらをこらしめる愉快な物語。 |
| 117 | 名犬物語 | 20 | 幼・小 | 子供達に親しまれている棕鳩十の動物物語の中から「アルプスの猛犬」をアニメ化した。母を亡くした少年と山犬の愛情。その強い絆は純朴さと鋭さゆえに見るものの心を強烈に揺さぶる。 |
| 118 | 雨をふらせる子熊くん | 22 | 幼・小 | 失敗を重ねてもみんなで工夫をして成し遂げる努力の大切さに気づかせる物語。 |